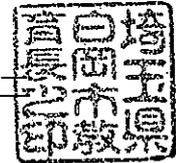


教 総 第 1 1 9 号  
令和 6 年 5 月 2 3 日

白岡市議会議長 大 島 勉 様

白岡市教育委員会  
教育長 横 松 伸



令和 5 年度白岡市教育委員会の点検・評価報告書について  
このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和  
3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 6 条第 1 項の規定に基づき、別添のとおり  
提出します。

令和5年度

# 白岡市教育委員会の 点検・評価報告書



令和6年5月

白岡市教育委員会

## 目 次

白岡市教育委員会教育委員名簿	1
I 点検・評価の趣旨	2
II 点検・評価の対象	3
III 点検・評価の方法	3
IV 点検・評価の構成	4
1 点検・評価の項目	
2 実施スケジュール	
3 議会への報告	
4 一般への公表	
V 達成度及び評価結果の判断基準	6
1 達成度の判断基準	
2 評価結果の判断基準	
VI 教育委員会会議の開催状況	7
VII 白岡市教育委員会の点検・評価シート	
1 家庭・地域の教育力の向上	1 6
(1) 家庭教育活動の充実	
(2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進	
2 学校教育の充実	2 6
(1) これからの時代に求められる資質・能力の育成	
(2) 豊かな心、健やかな体の育成	
(3) 教職員の資質・能力の向上	
(4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成	
(5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備	
(6) 多様なニーズに応える教育活動	
3 社会教育の充実	5 8
(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実	
(2) 人権教育の推進	
(3) 文化・芸術活動の促進	
(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進	
(5) 生涯スポーツの普及・推進	

# 白岡市教育委員会教育委員名簿

令和6年3月31日現在

職 名	氏 名	任 期	備 考
教 育 長	よこまつ しんじ 横 松 伸 二	令和 4年 9月 21日から 令和 6年 3月 31日まで	
教 育 長 職 務 代 理 者	やまざき みさえ 山 崎 美佐江	令和 3年 10月 1日から 令和 7年 9月 30日まで	
委 員	わだ れいこ 和 田 玲 子	令和 4年 10月 1日から 令和 8年 9月 30日まで	
委 員	おのめ にかい 小野目 如 快	令和 2年 10月 1日から 令和 6年 9月 30日まで	
委 員	ふくなが はじめ 福 永 肇	令和 5年 4月 1日から 令和 9年 3月 31日まで	

## I 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、一般に公表しなければならないこととされています。

白岡市教育委員会は、この規定に基づき、より充実した教育行政を推進するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務に関する点検・評価を実施し、この報告書を作成しました。

〔地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

☆ どのような点検・評価を行うか、また、報告書の様式や議会への報告の方法などについては、国が基準を定めるのではなく各教育委員会がそれぞれの実情を踏まえて決定することとされています。

## II 点検・評価の対象

白岡市教育委員会は、令和4年度から令和8年度までを計画期間とし、この5年間に取り組む目標と施策を示した「第3期白岡市教育振興基本計画」を策定しています。

この計画では、「学び楽しむまちづくり～次代を担う人と豊かな文化を育む～」を基本理念とし、その実現のために13の施策項目を掲げています。

また、この計画の実効性をより高めるために「令和5年度白岡市教育行政の重点施策」を策定しています。

白岡市教育委員会では、これらの計画・施策に沿って設定した事業等の取組状況について、点検評価を行いました。

## III 点検・評価の方法

白岡市教育委員会では、各事業の取組状況について、教育委員会による自己評価を行いました。

そして、この点検・評価の客観性を確保するため、教育委員会自らが行った点検・評価やその方法に対して教育に関し学識経験を有するかたから、公正・的確な意見をいただきました。

令和5年度は、<sup>よしのたかお</sup>吉野高男氏と<sup>たなかひろこ</sup>田中裕子氏に依頼し、御意見をいただきました。

氏名	経歴
よしのたかお 吉野高男 氏	元白岡市立小・中学校校長会会長 元白岡市立南中学校長
たなかひろこ 田中裕子 氏	白岡市文化財保護審議会委員 元埼玉県立歴史と民俗の博物館副館長

## IV 点検・評価の構成

### 1 点検・評価の項目 ( ) 内は掲載ページ

#### 1 家庭・地域の教育力の向上

##### (1) 家庭教育活動の充実

① 親力の育成 ( 1 6 P )

② 家庭教育活動における指導者育成 ( 1 8 P )

##### (2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進

① 体験的な学習機会・活動の充実 ( 2 0 P )

② 放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりの推進  
( 2 2 P )

③ 地域の子育て支援活動の促進 ( 2 4 P )

#### 2 学校教育の充実

##### (1) これからの時代に求められる資質・能力の育成

① 確かな学力の育成 ( 2 6 P )

② 社会変化へ対応する力の育成 ( 2 8 P )

##### (2) 豊かな心、健やかな体の育成

① 体験活動の推進と豊かな心の育成 ( 3 0 P )

② 命を大切にする教育の推進 ( 3 2 P )

③ いじめ防止対策の推進 ( 3 4 P )

④ 心身の健康の保持増進 ( 3 6 P )

##### (3) 教職員の資質・能力の向上

① 教職員の資質・能力の向上 ( 3 8 P )

② 教職員の働き方改革の推進 ( 4 0 P )

##### (4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成

① 家庭・地域・学校の連携・協働 ( 4 2 P )

② ふるさと意識の醸成 ( 4 4 P )

##### (5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備

① 教育環境の整備・充実 ( 4 6 P )

② 安全安心の確保 ( 4 8 P )

##### (6) 多様なニーズに応える教育活動

- ① 特別支援教育の充実（５０Ｐ）
- ② 不登校児童生徒への支援（５２Ｐ）
- ③ 外国人児童生徒・帰国児童生徒への支援（５４Ｐ）
- ④ 経済的支援（５６Ｐ）

### 3 社会教育の充実

#### (1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実

- ① 生涯学習活動の推進（５８Ｐ）
- ② 生涯学習施設・設備の充実（６０Ｐ）
- ③ 図書館機能の充実（６２Ｐ）
- ④ 子どもの読書活動の推進（６４Ｐ）
- ⑤ 枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化（６６Ｐ）

#### (2) 人権教育の推進

- ① 人権教育推進体制の充実（６８Ｐ）
- ② 啓発活動の充実（７０Ｐ）

#### (3) 文化・芸術活動の促進

- ① 文化・芸術に触れる機会の充実（７２Ｐ）
- ② 市民の文化・芸術活動の支援（７４Ｐ）

#### (4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進

- ① 文化財の総合的把握の促進（７６Ｐ）
- ② 歴史文化の保存と継承（７８Ｐ）
- ③ 歴史文化の情報発信・普及活用の充実（８０Ｐ）
- ④ 市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用（８４Ｐ）

#### (5) 生涯スポーツの普及・推進

- ① 生涯スポーツの普及・推進（８６Ｐ）
- ② スポーツ指導者の育成（８８Ｐ）
- ③ スポーツ施設・設備の充実（９０Ｐ）

## 2 実施スケジュール

当該年度に実施・推進する施策等について、点検・評価を行い、議会への報告及び一般への公表を行います。

- (1) 1月下旬 . . . . . 教育委員会事務局で原案作成
- (2) 3月下旬 . . . . . 学識経験者から意見書を受領
- (3) 5月 . . . . . 教育委員会での決定
- (4) 6月 . . . . . 議会への報告  
一般への公表

## 3 議会への報告

点検・評価の結果を毎年度、策定後直近の議会において報告します。

## 4 一般への公表

議会への報告後、教育委員会のホームページに掲載するとともに、閲覧用の報告書等を各公共施設に置きます。

# V 達成度及び評価結果の判断基準

## 1 達成度の判断基準

〔目標と成果・実績とを比較・勘案して〕

- A … 達成している。 (ほぼ100%達成)
- B … ほぼ達成している。 (約80%達成)
- C … おおむね達成している。 (約60%達成)
- D … 達成していない。 (50%以下)

## 2 評価結果の判断基準

〔自己点検・評価と外部評価者の意見等を勘案して〕

- A … 順調である。 (ほぼ100%満足)
- B … おおむね順調である。 (約80%満足)
- C … やや不調である。 (約60%満足)
- D … 不調である。 (50%以下)

## VI 教育委員会会議等の開催状況

### ～教育委員会会議～

教育委員会会議を、原則として月に1回開催し、付議事案の審議、協議及び報告などを行い、市の教育行政の方針等を決定しています。

令和5年度は、定例の会議を12回、臨時の会議を4回開催し、傍聴人は42人でした。

#### < 4月定例会 >

○日時 令和5年4月13日（木） 午前9時30分

#### ○委任事務等報告事項

第1 区域外就学について

第2 就学すべき学校の指定の変更について

第3 専決処分の報告について（人事案件）

第4 専決処分の報告について（白岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則）

第5 専決処分の報告について（白岡市教育委員会教育長の権限に属する事務の決裁等に関する規程及び白岡市教育委員会公文例及び文書取扱規程の一部を改正する訓令）

第6 専決処分の報告について（白岡市教育委員会の所管に係る白岡市個人情報保護法施行条例施行規則）

第7 白岡市教育情報通信ネットワーク管理規程の一部を改正する訓令

第8 白岡市生涯学習センター防犯カメラの設置及び運用に関する要綱及び白岡市立小・中学校防犯カメラの設置及び管理運用に関する要綱の一部を改正する告示

第9 白岡市公民館条例施行規則等の一部を改正する規則

#### ○議案

議案第17号 白岡市立学校職員の人事評価及び評価区分に関する苦情対応実施に関する規程

議案第18号 文化財の市指定について

議案第19号 白岡市文化財保護審議会委員の委嘱について

< 5 月定例会 >

○日 時 令和 5 年 5 月 1 8 日 (木) 午前 9 時 3 0 分

○委任事務等報告事項

第 1 区域外就学について

第 2 就学すべき学校の指定の変更について

第 3 P T A 会長等の表彰について

第 4 白岡市小・中学校区学校運営協議会委員について

○議案

議案第 2 0 号 令和 4 年度白岡市教育委員会の点検・評価  
報告書について

議案第 2 1 号 白岡市教育委員会表彰規程に基づく被表彰  
者の決定について

議案第 2 2 号 白岡市社会教育委員の委嘱について

議案第 2 3 号 令和 5 年度白岡市一般会計補正予算 (第 4  
号) (案) に係る意見聴取について

< 6 月定例会 >

○日 時 令和 5 年 6 月 1 5 日 (木) 午前 9 時 3 0 分

○委任事務等報告事項

第 1 区域外就学について

第 2 就学すべき学校の指定の変更について

第 3 6 月議会定例会の一般質問について

第 4 白岡市小・中学校就学支援委員会委員の委嘱について

第 5 令和 5 年度白岡市立菁莪小学校放課後子ども教室コ  
ーディネーターの委嘱について

第 6 令和 5 年度白岡市立大山小学校放課後子ども教室コ  
ーディネーターの委嘱について

第 7 いじめ重大事態に係る調査報告書について

< 6 月臨時会 >

○日 時 令和 5 年 6 月 2 9 日 (木) 午前 9 時 3 0 分

○委任事務等報告事項

第 1 いじめ重大事態に係る調査報告書について

○議案

議案第 2 4 号 白岡市教育委員会事務局職員の分限処分について

< 7 月定例会 >

○日 時 令和 5 年 7 月 1 3 日 (木) 午前 9 時 3 0 分

○委任事務等報告事項

第 1 就学すべき学校の指定の変更について

第 2 令和 5 年度就学援助の認定について

第 3 令和 5 年度白岡市学校給食委員会委員の委嘱について

第 4 白岡市いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について

第 5 令和 5 年度白岡市小・中学校児童・生徒体力向上推進委員会委員の委嘱について

○議案

議案第 2 5 号 学区審議会委員の委嘱について

議案第 2 6 号 学区審議会への諮問について

議案第 2 7 号 令和 6 年度使用小学校における教科用図書の推薦について

< 8 月定例会 >

○日 時 令和 5 年 8 月 1 0 日 (木) 午前 9 時 3 0 分

○委任事務等報告事項

第 1 区域外就学について

第 2 就学すべき学校の指定の変更について

第 3 令和 5 年度就学援助の認定について

第 4 令和 4 年度白岡市一般会計決算について

○議案

議案第 2 8 号 令和 6 年度使用小学校における教科用図書の選定について

< 9 月定例会 >

○日 時 令和 5 年 9 月 2 1 日 (木) 午前 9 時 3 0 分

○委任事務等報告事項

- 第 1 就学すべき学校の指定の変更について
- 第 2 令和 5 年度就学援助の認定について
- 第 3 専決処分の報告について (補正予算第 5 号)
- 第 4 9 月議会定例会の一般質問について

○議案

- 議案第 2 9 号 令和 6 年度当初白岡市教職員人事異動方針及び令和 6 年度当初白岡市立小・中学校教職員人事異動方針細部事項について
- 議案第 3 0 号 白岡市スポーツ推進委員の委嘱について

< 1 0 月定例会 >

○日 時 令和 5 年 1 0 月 1 9 日 (木) 午前 9 時

○委任事務等報告事項

- 第 1 区域外就学について
- 第 2 就学すべき学校の指定の変更について
- 第 3 令和 5 年度就学援助の認定について
- 第 4 白岡市教育委員会事務局職員 (部長等を除く) の人事について

○議案

- 議案第 3 1 号 市立の学校その他の教育機関の敷地を選定することについて (白岡市立白岡中学校)
- 議案第 3 2 号 白岡市立中学校生徒の自転車通学に関する意見交換会設置要綱
- 議案第 3 3 号 白岡市文化財保護審議会への諮問事項の決定について

< 1 1 月定例会 >

○日 時 令和 5 年 1 1 月 1 6 日 (木) 午前 9 時

○委任事務等報告事項

- 第 1 就学すべき学校の指定の変更について
- 第 2 令和 5 年度就学援助の認定について
- 第 3 専決処分の報告について (人事案件)

○議案

議案第34号 白岡市立小・中学校県費負担教職員人事（管理職）の内申について

議案第35号 令和5年第5回（12月）白岡市議会定例会提出条例案に係る意見聴取について

議案第36号 令和5年第5回（12月）白岡市議会定例会提出条例案に係る意見聴取について

議案第37号 令和5年第5回（12月）白岡市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

議案第38号 白岡市スポーツ推進委員の委嘱について

< 11月臨時会 >

○日時 令和5年11月21日（火） 午前9時

○議案

議案第39号 白岡市立大山小学校の今後の在り方について

議案第40号 令和5年第5回（12月）白岡市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

議案第41号 令和5年第5回（12月）白岡市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

< 12月定例会 >

○日時 令和5年12月14日（木） 午前9時

○委任事務等報告事項

第1 就学すべき学校の指定の変更について

第2 令和5年度就学援助の認定について

第3 12月議会定例会の一般質問について

第4 令和5年度白岡市教職員人事異動について

第5 専決処分の報告について（人事案件）

第6 白岡市立中学校生徒の自転車通学に関する意見交換会会員について

< 1月定例会 >

○日時 令和6年1月18日（木） 午前9時

○委任事務等報告事項

- 第 1 区域外就学について
- 第 2 就学すべき学校の指定の変更について
- 第 3 令和 5 年度就学援助の認定について
- 第 4 令和 6 年度小学校入学予定者に対する新入学児童生徒学用品費等の入学前支給の認定について
- 第 5 白岡市教育委員会事務局職員(部長等を除く)の人事について

< 2 月定例会 >

○日 時 令和 6 年 2 月 1 5 日 (木) 午前 9 時

○委任事務等報告事項

- 第 1 区域外就学について
- 第 2 就学すべき学校の指定の変更について
- 第 3 令和 5 年度就学援助の認定について

○議案

議案第 1 号 白岡市立小・中学校県費負担教職員人事(管理職)の内申について

議案第 2 号 白岡市教育委員会公印規則の一部を改正する規則

議案第 3 号 白岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

議案第 4 号 白岡市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則

議案第 5 号 令和 6 年第 1 回(3 月)白岡市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

議案第 6 号 令和 6 年第 1 回(3 月)白岡市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

< 3 月定例会 >

○日 時 令和 6 年 3 月 1 4 日 (木) 午前 9 時

○委任事務等報告事項

- 第 1 区域外就学について
- 第 2 就学すべき学校の指定の変更について

第 3 白岡市就学援助実施要綱の一部改正について

第 4 3月議会定例会の一般質問について

○議案

議案第 7 号 令和 6 年度白岡市教育行政の重点施策の承認  
について

議案第 8 号 白岡市スポーツ推進委員の退任について

< 3 月臨時会 >

○日 時 令和 6 年 3 月 2 1 日（木） 午後 2 時

○委任事務等報告事項

第 1 令和 6 年度当初白岡市教職員人事異動について

第 2 白岡市教育委員会事務局職員（部長等を除く）の人事  
について

○議案

議案第 9 号 白岡市教育委員会事務局職員（部長等）の人事  
について

議案第 1 0 号 白岡市スポーツ推進計画策定委員会設置要  
綱について

< 3 月臨時会 >

○日 時 令和 6 年 3 月 2 8 日（木） 午前 1 0 時 3 0 分

○議案

議案第 1 1 号 白岡市立小・中学校通学区域に関する規則の  
一部を改正する規則

～教育委員研修会～

教育委員会において活発な議論がされ、適切な判断がなされるよ  
う、当面する教育行政の課題について理解を深めることの一助とし  
て、月に 1 回程度の研修会を開催しました。

○日 時 令和 5 年 4 月 2 0 日（木）

○議 題 ・市内小・中学校の現状と課題

○日 時 令和5年7月20日（木）  
○議 題 ・白岡市立大山小学校の今後の在り方について

○日 時 令和5年8月3日（木）  
○議 題 ・市内小・中学校の現状と課題

○日 時 令和5年10月12日（木）  
○議 題 ・白岡市立大山小学校の今後の在り方について

○日 時 令和5年11月9日（木）  
○議 題 ・白岡市立大山小学校の今後の在り方について

○日 時 令和5年12月21日（木）  
○議 題 ・白岡市立大山小学校の今後の在り方について  
・白岡市中学校生徒の自転車通学に関する意見交換会について

○日 時 令和6年2月8日（木）  
○議 題 ・令和5年度白岡市教育委員会の点検評価報告書の中間報告について

### ～総合教育会議～

総合教育会議は、首長、教育委員会で構成され、首長が招集する会議です。当市における教育の現状と課題等を共有し、教育行政の一層の充実・発展を図ることを目的としています。

○日 時 令和5年9月21日（木）  
○議 題 ・学校施設の老朽化対策について  
・白岡市スポーツ推進計画に関するアンケート調査結果報告書について



## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

<b>施策目標</b>	1 家庭・地域の教育力の向上																																								
<b>施策項目</b>	(1) 家庭教育活動の充実																																								
<b>施策の方向</b>	① 親力の育成																																								
<b>主な取組</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭教育学級、家庭教育学級合同講座の充実</li> <li>2 「親の学習」講座の充実</li> <li>3 家庭教育学級への支援</li> </ol>																																								
<b>目標</b>	<p>家庭や地域の教育力の向上を図るため、家庭教育学級を各小・中学校に委託し開催していただくとともに、教育委員会主催の家庭教育学級合同講座を2回開催します。</p> <p>なお、より多くの保護者に参加していただけるような開催方法について検討し工夫していきます。</p> <p>また、「親の学習」講座については、受講者アンケートの結果を反映した講座内容を検討し、一層の充実を図ります。</p> <p>さらに、「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して、より多くの保護者に家庭教育や子育てに関する情報を提供できるよう努めます。</p>																																								
<b>事業実績・成果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭教育学級、家庭教育学級合同講座の充実【重点】              家庭教育学級を各小・中学校に委託し開催するとともに、教育委員会主催で家庭教育学級合同講座を2回開催しました。              このことにより、親力を養い、地域で安心して子育てができる環境を整備することを目的とした家庭や地域の教育力の向上が図られました。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各小・中学校家庭教育学級                 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>・篠津小学校</td><td>3回</td><td>延べ</td><td>82名</td></tr> <tr><td>・菁莪小学校</td><td>3回</td><td>延べ</td><td>43名</td></tr> <tr><td>・大山小学校</td><td>2回</td><td>延べ</td><td>18名</td></tr> <tr><td>・南小学校</td><td>2回</td><td>延べ</td><td>65名</td></tr> <tr><td>・西小学校</td><td>3回</td><td>延べ</td><td>127名</td></tr> <tr><td>・白岡東小学校</td><td>2回</td><td>延べ</td><td>53名</td></tr> <tr><td>・篠津中学校</td><td>3回</td><td>延べ</td><td>47名</td></tr> <tr><td>・菁莪中学校</td><td>3回</td><td>延べ</td><td>20名</td></tr> <tr><td>・南中学校</td><td>2回</td><td>延べ</td><td>34名</td></tr> <tr><td>・白岡中学校</td><td>2回</td><td>延べ</td><td>37名</td></tr> </table> </li> </ol> <p>※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（504人中503人・99.8%）</p> </li> <li>(2) 第1回合同講座・青少年育成推進大会の開催              ア 演 題 日本赤十字社から学ぶ ～家庭で考える防災の備え～              イ 講 師 日本赤十字社埼玉県支部 事業部 青少年・ボランティア課              越後 隆 氏、香山 和昭 氏              ウ 開催日 11月21日(火)              エ 参加者数 85名              ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合（85人中84人・98.8%）         </li> </ol>	・篠津小学校	3回	延べ	82名	・菁莪小学校	3回	延べ	43名	・大山小学校	2回	延べ	18名	・南小学校	2回	延べ	65名	・西小学校	3回	延べ	127名	・白岡東小学校	2回	延べ	53名	・篠津中学校	3回	延べ	47名	・菁莪中学校	3回	延べ	20名	・南中学校	2回	延べ	34名	・白岡中学校	2回	延べ	37名
・篠津小学校	3回	延べ	82名																																						
・菁莪小学校	3回	延べ	43名																																						
・大山小学校	2回	延べ	18名																																						
・南小学校	2回	延べ	65名																																						
・西小学校	3回	延べ	127名																																						
・白岡東小学校	2回	延べ	53名																																						
・篠津中学校	3回	延べ	47名																																						
・菁莪中学校	3回	延べ	20名																																						
・南中学校	2回	延べ	34名																																						
・白岡中学校	2回	延べ	37名																																						

	<p>(3) 第2回合同講座の開催  ア 演 題 「嘔む効果に関する食育」  イ 講 師 株式会社 ロッテ  ウ 開 催 日 2月2日(金)  エ 参加者数 56名  ※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合(56人中53人・94.6%)</p>
<p>事業実績・成果</p>	<p>2 「親の学習」講座の充実  来年度の小学校新入学児の保護者を対象に、就学時健診の待ち時間を活用し、「親の学習」講座を開催しました。  なお、家庭教育アドバイザーと協力し、レジュメ(①子育ての目安「3つのめばえ」、②スマホ・タブレットの利用の注意)を作成し、講義を行いました。  このことにより、親が必要とする知識を習得するための学習の場を提供し、家庭の教育力の向上が図られました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・篠津小学校 10月24日 76名参加</li> <li>・菁莪小学校 10月31日 34名参加</li> <li>・大山小学校 10月23日 4名参加</li> <li>・南小学校 9月12日 79名参加</li> <li>・西小学校 9月13日 134名参加</li> <li>・白岡東小学校 11月22日 75名参加</li> </ul> <p>※「参考になった」、「少し参考になった」と回答した保護者数・割合(386人中330人・85.5%)</p>
	<p>3 家庭教育学級への支援  各小・中学校に上限40,000円の委託金を交付するとともに、テーマや学習内容に係る相談、講師選定等についての助言や情報提供を行うなど、各小・中学校の家庭教育学級の運営を支援しました。  このことにより、地域社会が一体となった教育力の向上が図られました。</p>
<p>達成度</p>	<p>B</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>家庭教育学級の合同講座は、4年ぶりに対面において2回実施された。いずれも子育て世代に関心の高いテーマ設定で、多くの人が出席した。後日、講師への質問事項及びその回答を市のホームページに掲載したことは良い取組であった。家庭教育活動に有益な機会の提供として評価する。これが各小・中学校における家庭教育学級での活動の参考になればさらに有益だ。講座の内容や実施方法については、今後も検討を重ねて、より良い方法で実施してもらいたい。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行となったことから、家庭教育学級の合同講座及び「親の学習」講座について4年ぶりに対面での実施をしました。講座の研修内容だけでなく、同じ会場に居合わせることで生まれる他学校の保護者との交流などの機会を提供することができました。  今後は、引き続き、コロナ禍後の社会情勢に対応した講座の内容の充実に努めながら、今年度、実施した質問事項のホームページへの掲載などの取組を各学校の家庭教育学級に活かせるよう情報共有をしながら、内容の充実に図り、保護者に寄り添った形での実施を検討していきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	1 家庭・地域の教育力の向上
施策項目	(1) 家庭教育活動の充実
施策の方向	② 家庭教育活動における指導者育成
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークの実施</li> <li>2 各小・中学校へ委託している家庭教育学級への家庭教育アドバイザーの派遣</li> <li>3 「親の学習」講座への家庭教育アドバイザーの派遣</li> <li>4 家庭教育アドバイザー情報交換会の実施</li> </ol>
目標	<p>家庭教育学級や「親の学習」講座へ家庭教育アドバイザーを派遣し、家庭教育活動の充実に図ります。</p> <p>また、家庭教育アドバイザーに対しては、家庭教育アドバイザー情報交換会を実施し、家庭教育アドバイザーとの連携を図るとともに、県主催の家庭教育アドバイザー研修会への積極的な参加を促すなど、家庭教育学級や「親の学習」講座の内容を充実させることができるよう支援を行います。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家庭教育学級担当者打合せ会でのグループワークの実施 各小・中学校の家庭教育学級担当者（各小・中学校各2名参加）に対し、第1回打合せ会（5月19日開催）の際に、「スマホ・ゲーム等について」のグループワークを実施しました。 このことにより、安心して子育てや家庭教育ができるよう、親力や家庭の教育力の向上が図られました。</li> <li>2 各小・中学校へ委託している家庭教育学級への家庭教育アドバイザーの派遣 単位PTA家庭教育学級への家庭教育アドバイザーの派遣要請なし</li> <li>3 「親の学習」講座への家庭教育アドバイザーの派遣 来年度の小学校新入学児の保護者を対象とした「親の学習」講座の開催に際し、家庭教育アドバイザーを派遣しました。 このことにより、家庭教育活動の充実に図られました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・篠津小学校 10月24日 講師3名派遣</li> <li>・菟蓑小学校 10月31日 講師2名派遣</li> <li>・大山小学校 10月23日 講師1名派遣</li> <li>・南小学校 9月12日 講師4名派遣</li> <li>・西小学校 9月13日 講師1名派遣</li> <li>・白岡東小学校 11月22日 講師2名派遣</li> </ul> </li> <li>4 家庭教育アドバイザー情報交換会の実施 市内在住の埼玉県家庭教育アドバイザーに登録されている方を対象に情報交換会を開催し、「親の学習」講座開催に向けた講義内容やレジュメ（①子育ての目安「3つのめばえ」、②スマホ・タブレットの利用の注意）を作成しました。 また、市外の埼玉県家庭教育アドバイザーを講師としてお招きし、「親の学習」講座の模擬講座を行い、講座について意見交換を行いました。 このことにより、家庭教育アドバイザーの活動を支援し、家庭教育の充実に図られました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回情報交換会 5月19日</li> <li>・第2回情報交換会 8月9日</li> <li>・第3回情報交換会 8月29日</li> </ul> </li> </ol>

達成度	B
学識経験者の意見	<p>各小・中学校の家庭教育学級担当者が出席した打合せ会における講義や、市内の6小学校の就学時健診時に実施された「親の学習」講座の実施には、家庭教育アドバイザーが派遣された。そうした際に、アドバイザー間の情報交換会で作成したレジュメ等を配布及び活用したことは良い取組であった。</p> <p>家庭教育アドバイザーの情報交換会は、課題を共有し経験を蓄積する場となることを期待したい。今後も、各PTAと連携・協力しながら家庭教育アドバイザーとしてのスキルアップを図るとともに、その機能を十分に発揮できるよう努めてもらいたい。</p>
課題 今後の対応方針	<p>家庭教育アドバイザー情報交換会を実施するほか、県主催の家庭教育アドバイザー研修会への積極的な参加を促すとともに、アドバイザー間の情報共有を通じて資質の向上を図り、講師として、充実した内容による家庭教育学級や「親の学習」講座が実施できるよう支援をしていきます。</p>
評価結果	B
担当課	生涯学習課



<p>事業実績・成果</p>	<p>5 その他の体験活動の実施 親子で楽しみながら調理を行うわいわい料理教室の開催により、親子の絆を深めるとともに、料理の大変さや食べ物大切さを身をもって実感し、食への感謝をすることで、食育の一端を担うことができました。 また、料理をすることによって五感が養われ、子どもの感覚を育てる成長の機会を提供することができました。</p> <p>(1) わいわい料理教室 全3回 延べ16組40名  ア うどん打ち 7月 8日 9組22名  イ ピザづくり 11月 4日 5組12名  11月25日 2組 6名</p>
<p>達成度</p>	<p>B</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>今年度も「田んぼの学校」は年間を通して実施できた。田植えや稲刈り等の経験が子どもたちの食育につながることを期待したい。11月には、収穫した米をお握りにして食し、稲わらでしめ縄作りまでを一貫して体験できた。この事業を通して、稲わらまでもが生活を支える素材であったことを学んでもらえたら喜ばしい成果である。</p> <p>また、同じ「田んぼ」は生き物観察会の場としても子どもたちを楽しませたし、「夜の昆虫観察会」も子どもたちの人気を集めた。市域には水田も広がってはいるものの、子どもたちが自然の中で生き物に直接触れる機会は少なくなっているのだろうか。こうした身近な自然に触れる機会は子どもにとっては貴重な経験となるので、これからも大いに提供してほしい。</p> <p>夏休みには、コロナ禍以来となる宿泊を伴う「自然ふれあい体験教室」も開催され、多くの児童が参加している。ここでは、自然とのふれあいだけでなく、友達とのふれあいが何よりも嬉しいことだったはずである。</p> <p>『いきいきkids』の発行は初号のみであったが、これによって広く情報を提供し、子どもたちの体験的な学習機会・活動の充実を図れるように引き続き努めてもらいたい。</p> <p>全般に体験的な学習機会が数多く提供されたことを評価するとともに、農業従事者や大学生のボランティアなど事業を支えてくれる人材の確保も、引き続き今後の課題としてほしい。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>事業の実施に協力していただく講師や関係者との連携をしながら、充実した体験活動を提供するとともに、ニーズに合った学習内容を検討し、より多くの人にとって参加しやすい内容を目指します。</p> <p>ボランティアなどの事業を支えてくれる人材の確保については、地域や学校機関との連携を通して、充実に努めていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

<b>施策目標</b>	1 家庭・地域の教育力の向上																																																																
<b>施策項目</b>	(2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進																																																																
<b>施策の方向</b>	②放課後や週末などの子どもたちの居場所づくりの推進																																																																
<b>主な取組</b>	1 放課後子ども教室の充実・拡大																																																																
<b>目標</b>	<p>薺我小学校及び大山小学校において、放課後に教室等を活用し、子どもたちが安心して過ごせる居場所を設けて、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する教室を開催します。(薺我小学校：年16回、大山小学校：年12回)</p>																																																																
<b>事業実績・成果</b>	<p>1. 放課後子ども教室の充実・拡大【重点】                  薺我小学校及び大山小学校において、放課後子ども教室を開催しました。                  このことにより、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに成長していく環境づくりを推進し、地域の子育てネットワークを構築することができました。</p> <p>(1) 薺我小学校                  (参加児童数：50名(1、3年生：23名、2、4～6年生：27名))</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">ア マーブリング</td> <td style="width: 15%;">7月13日</td> <td style="width: 15%;">22名</td> <td style="width: 15%;">(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月31日</td> <td>27名</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> <tr> <td>イ 工作(ペットボトル空気砲)</td> <td>9月7日</td> <td>22名</td> <td>(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月14日</td> <td>24名</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> <tr> <td>ウ 校庭で自由遊び(牛乳パックフリスビーなど)</td> <td>10月12日</td> <td>21名</td> <td>(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月19日</td> <td>24名</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> <tr> <td>エ モルック教室</td> <td>11月7日</td> <td>21名</td> <td>(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月21日</td> <td>中止</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> <tr> <td>オ プログラミング教室</td> <td>12月7日</td> <td>17名</td> <td>(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月14日</td> <td>27名</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> <tr> <td>カ ポッチャ教室</td> <td>1月11日</td> <td>21名</td> <td>(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月21日</td> <td>24名</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> <tr> <td>キ マジック教室</td> <td>2月8日</td> <td>21名</td> <td>(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1月18日</td> <td>25名</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> <tr> <td>ク 漢字釣り</td> <td>3月7日</td> <td>22名</td> <td>(1、3年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月12日</td> <td>25名</td> <td>(2、4～6年生)</td> </tr> </table> <p>※「とても楽しかった」、「楽しかった」と回答した児童数・割合(50人中40人・80%)、「来年度も参加したい」と回答した児童数・割合(50人中38人・76%)</p>	ア マーブリング	7月13日	22名	(1、3年生)		8月31日	27名	(2、4～6年生)	イ 工作(ペットボトル空気砲)	9月7日	22名	(1、3年生)		9月14日	24名	(2、4～6年生)	ウ 校庭で自由遊び(牛乳パックフリスビーなど)	10月12日	21名	(1、3年生)		10月19日	24名	(2、4～6年生)	エ モルック教室	11月7日	21名	(1、3年生)		11月21日	中止	(2、4～6年生)	オ プログラミング教室	12月7日	17名	(1、3年生)		12月14日	27名	(2、4～6年生)	カ ポッチャ教室	1月11日	21名	(1、3年生)		2月21日	24名	(2、4～6年生)	キ マジック教室	2月8日	21名	(1、3年生)		1月18日	25名	(2、4～6年生)	ク 漢字釣り	3月7日	22名	(1、3年生)		3月12日	25名	(2、4～6年生)
ア マーブリング	7月13日	22名	(1、3年生)																																																														
	8月31日	27名	(2、4～6年生)																																																														
イ 工作(ペットボトル空気砲)	9月7日	22名	(1、3年生)																																																														
	9月14日	24名	(2、4～6年生)																																																														
ウ 校庭で自由遊び(牛乳パックフリスビーなど)	10月12日	21名	(1、3年生)																																																														
	10月19日	24名	(2、4～6年生)																																																														
エ モルック教室	11月7日	21名	(1、3年生)																																																														
	11月21日	中止	(2、4～6年生)																																																														
オ プログラミング教室	12月7日	17名	(1、3年生)																																																														
	12月14日	27名	(2、4～6年生)																																																														
カ ポッチャ教室	1月11日	21名	(1、3年生)																																																														
	2月21日	24名	(2、4～6年生)																																																														
キ マジック教室	2月8日	21名	(1、3年生)																																																														
	1月18日	25名	(2、4～6年生)																																																														
ク 漢字釣り	3月7日	22名	(1、3年生)																																																														
	3月12日	25名	(2、4～6年生)																																																														

事業実績・成果	<p>(2) 大山小学校(参加児童数: 8名)</p> <table border="0"> <tr><td>ア</td><td>マーブリング、看板づくり</td><td>7月10日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>イ</td><td>水遊び</td><td>9月4日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>ウ</td><td>お団子づくり</td><td>9月21日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>エ</td><td>モルック教室</td><td>10月5日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>オ</td><td>ペットボトル空気砲</td><td>10月26日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>カ</td><td>タブレット教室</td><td>11月9日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>キ</td><td>軽スポーツ</td><td>11月30日</td><td>6名</td></tr> <tr><td>ク</td><td>クリスマス会(音楽会)</td><td>12月14日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>ケ</td><td>バルーンアート</td><td>1月25日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>コ</td><td>お囃子</td><td>2月15日</td><td>8名</td></tr> <tr><td>サ</td><td>昔遊び(けん玉)</td><td>2月29日</td><td>7名</td></tr> <tr><td>シ</td><td>マジック、腹話術</td><td>3月14日</td><td>7名</td></tr> </table> <p>※「とても楽しかった」、「楽しかった」と回答した児童数・割合(8人中6人・75%)、「来年度も参加したい」と回答した児童数・割合(8人中6人・75%)</p>	ア	マーブリング、看板づくり	7月10日	8名	イ	水遊び	9月4日	8名	ウ	お団子づくり	9月21日	8名	エ	モルック教室	10月5日	8名	オ	ペットボトル空気砲	10月26日	8名	カ	タブレット教室	11月9日	8名	キ	軽スポーツ	11月30日	6名	ク	クリスマス会(音楽会)	12月14日	8名	ケ	バルーンアート	1月25日	8名	コ	お囃子	2月15日	8名	サ	昔遊び(けん玉)	2月29日	7名	シ	マジック、腹話術	3月14日	7名
ア	マーブリング、看板づくり	7月10日	8名																																														
イ	水遊び	9月4日	8名																																														
ウ	お団子づくり	9月21日	8名																																														
エ	モルック教室	10月5日	8名																																														
オ	ペットボトル空気砲	10月26日	8名																																														
カ	タブレット教室	11月9日	8名																																														
キ	軽スポーツ	11月30日	6名																																														
ク	クリスマス会(音楽会)	12月14日	8名																																														
ケ	バルーンアート	1月25日	8名																																														
コ	お囃子	2月15日	8名																																														
サ	昔遊び(けん玉)	2月29日	7名																																														
シ	マジック、腹話術	3月14日	7名																																														
達成度	A																																																
学識経験者の意見	<p>放課後子ども教室は、今年度も菅我小学校と大山小学校で実施された。年間に実施されたプログラムは、マーブリング・水遊び・お団子作り・ペットボトル空気砲作り等々、多彩であった。</p> <p>これだけのプログラムを実施するには、通常のスタッフだけでなく各々専門のスタッフの協力も必須となる。この事業を基本的に支えるスタッフが、PTAに限定されている訳でもなく、コーディネーターや教育活動サポーター、場合によってボランティアで構成されていることは評価に値する。子どもたちを、多くの大人たちが見ていてくれる安心感がある。</p> <p>参加した子どもたちにとっては、授業や家庭ではできない体験等を楽しめるということで満足度は高い。事業を安全に実施するために、概ね参加児童の約半数程のスタッフ・ボランティアがサポートして事業運営に毎回尽力していることを評価し、この事業が地域の子育てネットワークづくりのさらなる構築につながっていくことを期待する。</p>																																																
課題 今後の対応方針	<p>事業を安全に実施するための人材確保は課題ではありますが、地域の方々の参画・協力を得ながら、引き続き、放課後や週末などの子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして、放課後子ども教室の充実・拡大を図っていきます。</p>																																																
評価結果	A																																																
担当課	生涯学習課																																																

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	1 家庭・地域の教育力の向上
施策項目	(2) 家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組の推進
施策の方向	③地域の子育て支援活動の促進
主な取組	1 子育て・家庭教育に関わる団体（組織）との連携・協力
目標	子育て・家庭教育に関わる団体（組織）同士が課題を共有し、協力しながら活動できるよう団体間の交流の機会を設けるほか、共同事業を実施します。 また、子育て・家庭教育に関わる団体（組織）と連携・協力し、地域一体となった子育て支援活動を促進します。
事業実績・成果	<p>1 子育て・家庭教育に関わる団体（組織）との連携・協力                      地域の子育て支援組織である「町ぐるみん白岡」との共催により、学校応援団交流会及びおやじの会交流会を開催しました。                      このことにより、各小・中学校各団体の課題を共有し、各団体同士の連携を深めることができ、地域一体となった子育て支援活動の促進が図られました。                      また、地域の子育て支援組織であるASCにより大山小学校及び薺荻小学校でモルック教室を実施しました。                      このことにより、家庭・地域・学校が一体となった子育て支援活動の促進が図られました。</p> <p>(1) 学校応援団交流会 2月17日 26名                      ア 「町ぐるみん白岡」の活動について発表                      イ 学校運営協議会の活動について情報交換会</p> <p>(2) おやじの会交流会 12月16日 4名                      ひこべえの森冬のつどい内で実施</p> <p>(3) モルック教室（放課後子ども教室として実施）（再掲）                      ・薺荻小学校 11月 7日 21名（1、3年生）                      11月21日 インフルエンザ流行により中止（2、4～6年生）                      ・大山小学校 10月 5日 8名</p>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>今年度も地域の子育て支援組織である「町ぐるみん白岡」との共催で学校応援団交流会とおやじの会交流会が開催された。こうして、各学校や団体が抱える課題を共有していくことは、連携・協力して活動を進めていくためにも重要である。また、こうした支援組織の連携が「放課後子ども教室」に活かされ、子どもたちに楽しい時間を提供していることも評価したい。</p> <p>さらには、自然観察会「ひこべえの森 冬のつどい」では、「町ぐるみん白岡」、「白岡緑と土の会」、白岡市環境課及び生涯学習課の4者が共催して森の大掃除が実施された。参加者は94人。市内の中学生やPTA、「おやじの会」も協力している。ここでは、大人が組織する子育て・家庭教育にかかわる団体（組織）だけでなく、中学生も一緒に作業できたことは貴重な体験となっただろう。作業後の炊き出しや、落ち葉等で焼き上げた焼き芋の味は格別だったに違いない。</p> <p>今後はこうした団体の担い手を充足させることにも注力し、イベント等を通して交流を深めて、地域一体となった子育て支援の輪を広げる努力を続けてもらいたい。</p>

<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>子育て・家庭教育に関わる団体や組織間で課題を共有し、協力しながら活動できるよう団体間の交流の機会をイベント等を通して設けるなど、子育て・家庭教育に関わる団体等と連携・協力し、地域一体となった子育て支援活動を促進と他の生涯学習講座と連携した「人づくり」の視点も大切にしたい支援活動をしていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

<b>施策目標</b>	2 学校教育の充実
<b>施策項目</b>	(1) これからの時代に求められる資質・能力の育成
<b>施策の方向</b>	① 確かな学力の育成
<b>主な取組</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題発見・解決能力の育成</li> <li>2 主体的・対話的で深い学びの充実</li> <li>3 少人数指導の充実</li> <li>4 教育補助員、ICT支援員の活用・拡充</li> <li>5 全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査の結果の分析と指導方法改善</li> <li>6 教育課程研究推進委員会の開催</li> </ol>
<b>目標</b>	<p>児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実や、1人1台端末を活用して個別最適化した学びの充実など基礎・基本の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを充実し、課題発見・解決能力を育成していきます。また、そのための環境整備の充実に努めます。</p>
<b>事業実績・成果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題発見・解決能力の育成                      課題発見・解決能力の育成のため、市内全ての小・中学校において、学校研究課題を設定し、研究を進めました。校内研修に位置付けることにより、教職員全員の課題発見・解決能力の育成を図ることができました。                      ・篠津小学校・・・児童一人一人が「わかる・できる」を実感できる指導法の工夫（算数）                      ・菁莪小学校・・・自分の言葉で表現し、協働して課題解決を目指す児童の育成（道徳）                      ・大山小学校・・・文章を正確に理解し、わかりやすく表現できる児童の育成                          ～国語科の読む活動を通して～                      ・南小学校・・・進んで、課題解決できる児童の育成（算数科）                          ～課題に対し、自ら立ち向かう力を育てる指導法の工夫～                      ・西小学校・・・自ら学び続け、互いに認め、高め合える西小っ子の育成                      ・白岡東小学校・・・認め合い、高め合い、未来を切り拓く児童の育成                      ・篠津中学校・・・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善                          ～GIGAスクール構想と個別最適な学びを目指して～                      ・菁莪中学校・・・確かな学力の向上と人間性豊かな生徒の育成                          ～全教科・領域を通じた授業改善～                      ・南中学校・・・みんなで作るみんなの南中の実現                          ～県学力・学習状況調査等の分析を活かした学校づくり～                      ・白岡中学校・・・子どもたちの可能性を引き出すための学びの実現を目指して                          ～ICT機器を利用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」～                 </li>   <li>2 主体的・対話的で深い学びの充実【重点】                      主体的・対話的で深い学びの充実を図るため、1人1台端末を活用した、「授業づくりの原点」に立ち戻って考えるような研修を各校において進めています。                      このことにより、「児童生徒の思考がどのように広がり、深まっていくのか」「児童生徒にどのような支援が必要なのか」「個別、協働、一斉をどのように授業に取り入れるのか」等、授業づくりの研修の充実を図ることができました。                 </li>   <li>3 少人数指導の充実                      少人数指導の充実のため、小学校4名、中学校6名配置している教科指導充実加配や、小学校2名、中学校5名配置している会計年度任用職員（教科指導補助・市費）を適切に活用しています。                      このことにより、児童生徒の学力向上を図ることができました。                 </li> </ol>

事業実績・成果	<p>4 教育補助員、ICT支援員の活用・拡充 市内小・中学校の現状を把握し、教育補助員、ICT支援員の活用・拡充を行いました。</p> <p>このことにより、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援を図ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の補助 小学校14名、中学校7名</li> <li>・理科支援員 全ての小学校に配置(3名)</li> <li>・図書館補助 全ての小・中学校に配置(3名)</li> <li>・日本語指導 対象の学校に配置(3名)</li> <li>・教科指導補助 対象の学校に配置(4名)</li> <li>・支援相談員 全ての小学校に配置(6名)</li> <li>・さわやか相談員 全ての中学校に配置(4名)</li> <li>・ICT支援員 全ての小・中学校にて支援(2名)</li> </ul>
	<p>5 全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査の結果の分析と指導方法改善 「全国学力・学習状況調査」及び「県学力・学習状況調査」の結果分析と指導方法の改善を各校で実施しました。また、校長会・教頭会において、白岡市全体の結果を周知し、指導方法改善に向けた具体的な取り組み方法についても指導をしています。</p> <p>このことにより、各校において学力向上の視点を踏まえた校内研修の充実が図られました。</p>
	<p>6 教育課程研究推進委員会の開催 教育課程研究推進委員会を11月17日(金)に開催しました。</p> <p>このことにより、小・中学校のICT活用について共通理解を図るとともに、各校の授業・研修に生かすことができました。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業改善について</li> <li>②タブレット端末の活用及び生成AIの利用について</li> <li>③働き方改革、教育課程の編成について</li> </ul>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>1人1台端末を活用して「主体的・対話的で深い学び」の充実を図るために各校で研修を推進し、課題発見・解決能力の育成を図ったことを評価する。</p> <p>また、本市の児童生徒は全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査において、全国平均・県平均を上回り高い学力を維持しており、このことは評価できる。</p> <p>今後は、「主体的・対話的で深い学び」の充実からその深化と恒常化を目指して「協働的な学び」を中心とした授業づくりの研修・実践が全ての学校において推進されることを期待する。そして、本市の全ての教室が誰もが互いにつながって学び合う教室であることを願う。</p>
課題 今後の対応方針	<p>主体的・対話的で深い学びの充実については、今後も協働的な学びを中心とした授業づくりについて、各校において研修を深めていきます。全国学力・学習状況調査及び県学力・学習状況調査において、全国平均・県平均を上回ることができるよう、ICTの活用や少人数指導の充実を今後も図っていきます。</p>
評価結果	B
担当課	教育指導課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(1) これからの時代に求められる資質・能力の育成
施策の方向	② 社会変化へ対応する力の育成
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報モラル教育、情報活用能力の育成</li> <li>2 A L Tを活用した授業の充実</li> <li>3 キャリア教育の充実</li> <li>4 I C T支援員の活用・拡充</li> <li>5 主権者教育や消費者教育の推進</li> </ol>
目標	<p>国際化、情報化の進展に対応するため、1人1台端末の活用など児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。また、白岡市子どものネット利用宣言を活用し、児童生徒が自ら安全に情報を活用する姿勢を育てていくなど、情報モラル教育を推進します。A L Tを配置し、外国語科等の教科指導や国際理解教育の充実を図ります。変化し続ける社会でも生涯にわたって自ら学び続ける姿勢を育むため、キャリア教育の充実に努めるとともに、主権者教育、消費者教育の推進にも努めます。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報モラル教育、情報活用能力の育成 白岡市子どものネット利用宣言のリンクを児童生徒の学習用iPadに貼り付け、いつでも確認ができる状態にしました。埼玉県ネットトラブル注意報を各校に配布しました。 このことにより、児童生徒及び保護者への啓発、教職員への研修に生かすことができました。 I C T端末の活用、セキュリティに関するオンライン研修を実施しました。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>2 A L Tを活用した授業の充実【重点】 外国語（英語）指導講師（A L T）を小学校6校で2名、中学校各校に1名配置しました。 また、大山小学校では、「特色ある教育」として12月6日（水）に全校児童を対象にした「イングリッシュキャンプ」を実施し、2月5日（火）には3年生以上を対象にした「オンラインブレンデッド」を開催しました。 このことにより、外国語（英語）教育の充実や大山小学校の特色ある教育につなげることができました。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 キャリア教育の充実 職場体験を全中学校で実施しました。 このことにより、各学校において、キャリアパスポートの活用を通じて一人一人のキャリア形成につなげることができました。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 I C T支援員の活用・拡充 I C T支援員1名を配置し、I C T機器の整備、活用につなげました。 ・ I C T支援員1名 1日5時間、週3日</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>5 主権者教育や消費者教育の推進 各学校において社会科の授業を中心に主権者教育、消費者教育を推進できるようリーフレット等の活用について周知するほか、セミナーの案内をしました。 中学校では、生徒会役員選挙の際に市の選挙用記載台や投票箱を使用して選挙を行う経験をしました。 このことにより、主権者教育の理解や、消費者教育の推進を図ることができました。</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>外国語教育、国際理解教育の充実のため、ALTを全中学校に各1名また、小学校6校に対し2名配置し、成果をあげていることを評価する。      今後は、小・中の連携や授業時以外のALTの積極的な活用を促し、一層質の高い活用を期待したい。さらに小学校においても全ての学校に配置できることを期待する。      1人1台端末を生かした教育活動を推進する上で、情報モラル教育は必須である。児童生徒、保護者への啓発および教職員の研修の実施などに取り組んでいることが評価できる。今後、保護者への啓発活動をさらに工夫して一層広く多くの保護者に「自分事」として心に届くものになることを期待する。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>1人1台端末を始めて令和6年度は4年目となり、タブレット端末を生かした学習活動では、各学校、各教員によって様々な取組がなされ、継続的に行われています。タブレット端末を学習に活かしている一方で、タブレットによって起こる生徒指導上の問題も増えています。教育活動を推進する上で、「情報モラル教育」は必須であり、今後も、児童生徒、保護者、教職員への啓発や研修を行います。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(2) 豊かな心、健やかな体の育成
施策の方向	①体験活動の推進と豊かな心の育成
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道徳教育の充実と人権教育の推進</li> <li>2 埼玉の子ども70万人体験活動</li> <li>3 外部の指導者や講師の活用</li> <li>4 保育所や高齢者福祉施設等地域との交流</li> <li>5 規律ある態度の育成</li> <li>6 読書活動の推進</li> </ol>
目標	<p>児童生徒の豊かな心を育むため、道徳の授業の充実を図るとともに埼玉の子ども70万人体験活動や地域の方々との交流などの体験活動を推進します。また、同和問題をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人、性的マイノリティ、ジェンダー等をめぐる人権問題やインターネットでの人権侵害など様々な人権課題に対応した人権教育を推進していきます。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道徳教育の充実と人権教育の推進【重点】 道徳教育の充実と人権教育の推進を図るため、道徳科のみならず、学校教育全体や家庭教育において様々な取組を行っています。 このことにより、学校のみならず、家庭においても、道徳教育や人権教育の推進を図ることができました。 ・いじめ防止基本方針（各校のHPで公開） ・特別の教科道徳の授業の着実な実践 ・家庭用「彩の国の道徳」の周知 ・10月25日（水）に埼玉人権教育研究協議会の授業研究を実施</li> <li>2 埼玉の子ども70万人体験活動 中学校における職場体験チャレンジや、全ての小・中学校で行われているみどりの学校ファーム等で体験活動を実施しました。 このことにより、思いやりの心や規範意識、学習意欲、目的意識、望ましい勤労観・職業観を育むなど、豊かな人間性や社会性など「生きる力」の基礎を築くことができました。</li> <li>3 外部の指導者や講師の活用 稲作体験、文化体験学習など、地域の方々を招いての交流学习を実施しました。 地域の方との交流により、「ふるさと意識の醸成」を図ることができました。</li> <li>4 保育所や高齢者福祉施設等地域との交流 中学校において、保育所体験学習を実施しました。 このことにより、思いやりの心や、親や周りの人に対する感謝の気持ちを育むことができました。</li> <li>5 規律ある態度の育成 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、基本的な生活習慣（早寝・早起き、朝食）については、小・中学校ともに全国平均と比較して好ましい結果となっています。 各校においては、基本的な生活習慣の結果を保護者等にも周知し、さらなる定着を図ることができました。</li> <li>6 読書活動の推進 ボランティア団体による児童への読み聞かせや、生涯学習課学びあい図書館担当による児童へのブックトークが行われました。 このことにより、読書活動の推進を図ることができました。</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>コロナ禍の収束を迎え、体験活動をほぼ従前に近い形で実施したことを評価する。特別の教科道徳を着実に実践したことと家庭用「彩の国の道徳」の周知により道徳教育の充実を図ったこと、そして人権教育の推進を図ったことを評価する。家庭用「彩の国の道徳」については、中学校における家庭への啓発が一層求められる。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>体験活動を通じて、積極性や協調性、コミュニケーション力など子供たちの豊かな心を育成することを目的に、外部指導者の活用や行事の精選など、さらなる工夫が求められます。また、道徳教育においては、推進教員を核とした授業のボトムアップが求められます。読書活動の推進は、ブックトークや図書室の活用だけではなく、ICTの効果的な活用も必要になります。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(2) 豊かな心、健やかな体の育成
施策の方向	②命を大切にす教育の推進
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道徳教育の充実と人権教育の推進</li> <li>2 いじめ防止基本方針の推進</li> <li>3 教育相談の充実</li> <li>4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化</li> <li>5 SOSの出し方に関する教育の推進</li> </ol>
目標	全教育活動を通じて道徳教育を推進し、児童生徒が命はかけがえのないものであることを実感し、自他の命を大切にす教育を推進します。また、様々な悩みや困難を身近な人に相談できる体制づくりを充実していきます。
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 道徳教育の充実と人権教育の推進【重点】（再掲） 道徳教育の充実と人権教育の推進を図るため、道徳科のみならず、学校教育全体や家庭教育において様々な取組を行っています。 このことにより、学校のみならず、家庭においても、道徳教育や人権教育の推進を図ることができました。 ・いじめ防止基本方針（各校のHPで公開） ・特別の教科道徳の授業の着実な実践 ・家庭用「彩の国の道徳」の周知 ・10月25日（水）に埼玉人権教育研究協議会の授業研究を実施</li> <li>2 いじめ防止基本方針の推進 いじめ防止対策推進委員会・定例会（11/8）にて、市内小・中学校において、「いじめ防止基本方針」に則り、適切に対応しているか協議しました。 このことにより、いじめ防止について体制についての共通理解を図ることができました。</li> <li>3 教育相談の充実 教育相談の充実を図るため、各校で開催されている教育相談連絡会に指導主事が参加しました。また、電話や面談により保護者と教育相談を行いました。 このことにより、生徒指導・教育相談上、支援を要する児童生徒を把握するとともに、指導・対応について助言を行うことで、早期の解決を図ることができました。 ・教育相談連絡会の実施（小学校18回、中学校12回、合計30回） ・電話や面談による保護者との相談件数（小学校8件、中学校4件）</li> <li>4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化【重点】 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを小・中学校に適切に配置しました。 このことにより、小・中学生や保護者からの相談に対応し、いじめ等の早期発見・早期解決の一助となりました。 ・支援相談員（全小学校に配置 6名） ・さわやか相談員（全中学校に配置 4名） ・スクールカウンセラーの配置（小学校2名、中学校に1名） ・スクールソーシャルワーカーの配置（教育支援センターに県費・市費兼務1名）</li> <li>5 SOSの出し方に関する教育の推進 国、県通知を市内小・中学校に周知するとともに、さわやか相談員やスクールカウンセラーの適切な配置を行いました。 また、ネットトラブル等を防止し、ネットに関するSOSの出し方についての情報モラル教育を、各校の実態に応じて、外部講師を招いて実施するなど、各校の実態に応じて取り組みました。 このことにより、SOSを出しやすい環境を整備することができました。</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>教育相談の充実のため、各校が定期的に教育相談連絡会を実施し、それに指導主事も出席し、学校と教育委員会が積極的に情報共有することにより、早期解決に努めたことを評価する。 全小学校に支援相談員を、全中学校にさわやか相談員を、さらに中学校にはスクールカウンセラーを配置することにより、いじめ防止や不登校児童生徒対策にきめ細かに対応したことを評価する。可能であるならば、スクールカウンセラーを全中学校に各月4回配置し、小学校にも出向くことができるような環境が整うことを願う。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>今後も教育相談の充実のため、各校が定期的に行う教育相談連絡会に、指導主事やスクールソーシャルワーカーが出席し、指導・助言を行っていきます。いじめ防止や不登校児童生徒対策にきめ細かに対応するため、さわやか相談員やスクールカウンセラーを適切に配置し、小・中学校間で情報を共有し、早期に解決できるよう連携を深めていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(2) 豊かな心、健やかな体の育成
施策の方向	③いじめ防止対策の推進
主な取組	1 いじめ防止対策推進委員会の開催 2 学級経営の充実
目標	いじめ防止対策推進法に基づき、各学校で定められたいじめ防止基本方針を推進し、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに相談体制の充実を図ります。
事業実績・成果	1 いじめ防止対策推進委員会の開催 市内小・中学校におけるいじめ防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のため、いじめ防止対策推進委員会を開催しました。 このことにより、いじめ防止等のための有効な対策について協議を図り、小・中学校に周知することで、いじめ防止について啓発を図ることができました。 ・いじめ防止対策推進委員会（定例会） 1回（11/8）開催  2 学級経営の充実 学級経営の充実を図るため、夏季休業中に教科指導法研修会を実施しました。 このことにより、若手教職員の指導力向上を図ることができました。 (1) 日 時 7月28日（金）9：00～11：30（白岡東小学校） (2) 対象者 市内小中学校の学級担任及び副担任、教科担当教員 (3) 趣 旨 若手教員及び経験年数の少ない教員が、経験豊かな教員の指導法や児童生徒とのよりよい関係づくりについて学び、自らの指導力を向上させる。
達成度	B
学識経験者の意見	いじめ防止対策推進委員会（定例会）を着実に実施し、協議事項を各校に周知することでいじめ防止について啓発を図ったことを評価する。 しかしながら、令和5年6月にはいじめ重大事態報告書が提出されている。教育委員会・学校は、この提言の内容を十分に理解し、取り組んでいただきたい。 さらに、いじめ防止の取組は、不断に継続することが何よりも大切である。学校と家庭・地域並びに行政機関が強く連携して子ども達を見守る体制をしっかりと築いていかなければならない。特に学校においては、いじめの未然防止・撲滅のための取組をこれまで以上に確実に推進することを強く願う。
課題 今後の対応方針	いじめ防止対策推進委員会については、今後も計画的に実施することにより、いじめ防止のための対策を学校に周知していけるよう、努めていきます。
評価結果	B
担当課	教育指導課



## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(2) 豊かな心、健やかな体の育成
施策の方向	④心身の健康の保持増進
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校保健の充実</li> <li>2 新体力テストの実施と結果の活用</li> <li>3 感染症に関する指導の充実</li> <li>4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化</li> <li>5 ヤングケアラーの周知・支援</li> </ol>
目標	<p>新体力テストを実施し、その結果を分析することで児童生徒の体力向上に役立てていきます。部活動では白岡市部活動指導のガイドラインに基づいた活動を推進していきます。</p> <p>また、友人関係や進路、学校生活に悩む児童生徒だけでなく、保護者も教育相談を行えるさわやか相談員を各中学校に配置するほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも配置します。ヤングケアラーの周知・支援なども含め、教育相談体制の充実を図っていきます。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校保健の充実 学校保健の充実を図るため、白岡市小・中学校体力向上推進委員会養護部会における、健康診断結果の取りまとめを行い、年度末には市内小・中学校に周知しました。 このことにより、各校の状況と市平均を比較するとともに、保護者への啓発や児童生徒への指導に生かしています。 ・白岡市小・中学校体力向上推進委員会の開催</li> <li>2 新体力テストの実施と結果の活用 新体力テストを実施するとともに、白岡市小・中学校体力向上推進委員会にて結果の分析を行いました。 このことにより、白岡市及び自校の課題を把握し、児童生徒の更なる体力向上に向け、各校において実践することができました。 ・新体力テストの全小・中学校による実施 ・白岡市小・中学校体力向上推進委員会における結果分析</li> <li>3 感染症に関する指導の充実 文部科学省、埼玉県からの通知を各校へ周知するとともに、学級閉鎖を行うにあたっては、基準を明確にし、管理職との連携を図り、適切に判断・対応を行いました。 このことにより、各校における感染症の拡大を未然に防ぐことができました。</li> <li>4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化（再掲） 相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを適切に配置するとともに、教育指導課が相談員やスクールカウンセラー等との連携を密にし、児童生徒や保護者への対応を行いました。 このことにより、児童生徒や保護者の相談に対して、適切な対応や関係機関等との連携を図ることができました。 ・支援相談員（全小学校に配置 6名） ・さわやか相談員（全中学校に配置 4名） ・スクールカウンセラーの配置（小学校2名、中学校に1名） ・スクールソーシャルワーカーの配置（教育支援センターに県費及び市費1名）</li> <li>5 ヤングケアラーの周知・支援 国・県のヤングケアラーに関する通知を各校に周知しました。また、子育て支援課と連携し、12月15日に南中学校の生徒対象に、白岡市ヤングケアラーサポート教室を開催しました。 また、11月7日には白岡市ヤングケアラー研修を市内の教職員対象に行いました。 このことにより、ヤングケアラーに関する教職員及び児童生徒の理解を深めることができました。 ・子育て支援課による民生委員、児童委員への研修の実施（6月16日）</li> </ol>

達成度	A
学識経験者の意見	<p>新型コロナウイルス感染症対策にかかる制限も大幅に緩和されたが、アフターコロナの時代としてインフルエンザ等他の感染症を含め基本的な対策を怠ることなく、子ども達が互いのぬくもりを感じながら本当にふれあいのある学校生活を送れる時代が続くことを願うばかりである。</p> <p>ヤングケアラーの問題は現在、喫緊の社会問題となっている。本市は教職員研修を実施するとともに中学生に対し講座を開き、教職員のみならず生徒もヤングケアラーへの理解を深められたことを評価する。</p>
課題 今後の対応方針	<p>子どもたちの体力向上、運動に親しむことが課題です。コロナ対応により、思うように活動できなかった時期を乗り越え、自校の課題を明確にした体育授業を行っていきます。</p> <p>相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るために、適切な人員の配置と活用に取り組みます。</p> <p>また、ヤングケアラーについては、子どものつぶやきに注意しながら、教員が積極的に児童生徒に関わっていきます。</p>
評価結果	A
担当課	教育指導課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(3) 教職員の資質・能力の向上
施策の方向	①教職員の資質・能力の向上
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人事評価制度を活用した人材育成や能力の向上</li> <li>2 教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修</li> <li>3 年次別研修による指導力向上</li> <li>4 教職員の服務に関する研修会の実施</li> <li>5 白岡市教育の日の実施</li> </ol>
目標	<p>教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修などの実施や、年次別研修の充実など、教職員の資質・能力の向上を図ります。また、人事評価制度を活用し、人材育成に努めます。</p> <p>児童・生徒、保護者、地域から信頼される学校を目指し、教職員の不祥事根絶に向け、服務に関する研修を行います。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人事評価制度を活用した人材育成や能力の向上 市内小・中学校の校長においては、学校経営が適切に行われているかどうか、年間3回教育長、教育部長、教育指導課長と校長による面談を行いました。 このことにより、人事評価制度を活用し、人材育成や能力の向上を図ることができました。 ・当初面談 令和5年5月に実施 ・中間申告面談 令和5年10月に実施 ・達成状況面談 令和6年2月に実施</li> <li>2 教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修【重点】 教職員を対象としたICT、情報管理等に関する研修（セキュリティ研修）について、令和5年7月31日に実施しました。 このことにより、1人1台端末の活用3年目（令和5年度）においても、さらなる利活用を図ることができました。</li> <li>3 年次別研修による指導力向上【重点】 各小・中学校とも、新採用、2年次、7年次にあたる教員及び臨時的任用教員・任期付教員（※本市で初めて任用された者）を対象に、指導力の向上を図るため、教科や道徳、特別活動についての研究授業を行いました。 このことにより、新採用、2年次、7年次にあたる教員等の指導力向上を図ることができました。</li> <li>4 教職員の服務に関する研修会の実施 教職員の服務に関する研修会については、夏季休業中に市内すべての小・中学校に教育指導課長及び指導主事が訪問し、教職員に対して直接、不祥事防止など服務に関する指導を行いました。 このことにより、教職員一人一人が不祥事をより自分事として捉えるようになりました。</li> <li>5 白岡市教育の日の実施 白岡市教育の日の実施については、11月1日に、南小学校及び白岡中学校において、研究発表会を行いました。市内すべての小・中学校教員が授業を参観するとともに研究協議会や指導主事による指導・講評も行われました。 また、8月23日（水）に教職員全員研修会を実施し、次年度の発表校の中間発表を行い、指導・講評を行いました。 このことにより、南小学校及び白岡中学校の実践を他校においても活かすことができました。</li> </ol>
達成度	A

<p>学識経験者の意見</p>	<p>GIGAスクール構想を推進する上で、教職員のICT、情報管理（含セキュリティ研修）研修は欠かすことができない。本市では計画的に開催し、スキルアップを図っていることを評価する。</p> <p>教員の質の低下が叫ばれる中、若手教員の育成は重要課題である。</p> <p>本市では新採用者、2年次、7年次にあたる教員の指導力を高めるため、研究授業を中心とした実践的研修を実施しており、このことは評価できる。今後、授業研究を中心に「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを一層深める研修となることを願う。また、中堅教員対象のミドルリーダー育成をねらいとした研修の一層の充実にも期待するところである。</p> <p>白岡市教育の日の研究発表会がコロナ禍前のように行われたことは喜ばしいことである。他校、さらには異校種の授業を市内の全教職員が実際に参観して学べる機会は決して多くはない。願わくば、委嘱校の実践が他校にも着実に広がり、定着されることを強く望む。この取組は貴重であり、継続を願いたい。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>白岡市「教育の日」の研究発表会については、対面の形で今後も実施し、異校種の貴重な交流の機会となるよう充実を図っていきます。教職員のICT活用能力や授業力の向上のために、授業研究を中心とした実践的な研究の機会を充実させていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>A</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(3) 教職員の資質・能力の向上
施策の方向	②教職員の働き方改革の推進
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 校務のICT化の推進や業務内容の精選</li> <li>2 理科支援員、学校図書館支援員の配置</li> <li>3 学校閉庁日の実施</li> <li>4 持続可能な部活動の推進</li> </ol>
目標	<p>教職員が児童生徒と向き合うための時間や教職員自身の人間性や創造性を高める時間を確保し、より質の高い教育活動を実践することができるように支援します。そのために校務のICT化や業務の精選に取り組むことで勤務時間の適正化を図ります。また、各支援員の配置により、教職員の業務の負担軽減を行います。中学校の部活動については、委託団体を選定し、休日の部活動における段階的な地域移行を推進します。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 校務のICT化の推進や業務内容の精選【重点】 7月31日(月)に市内小・中学校の各教職員を対象に、アップルの社員を講師に迎え、iPadの基本的な使い方や便利なアプリの使い方についてタブレット研修を行いました。このことにより、校務のICT化の推進や業務内容の精選について共通理解を図り、各校の実践に生かすことができました。</li> <li>2 理科支援員、学校図書館支援員の配置 市内小・中学校に適切に配置し、授業準備や片付け、図書館整備などを行っています。このことにより、教職員の負担軽減となりました。 ・理科支援員・・・市内全小学校に配置(3名) ・学校図書館支援員・・・市内全小・中学校に配置(3名)</li> <li>3 学校閉庁日の実施【重点】 8月11日～8月16日及び県民の日である11月14日を、学校閉庁日としています。このことにより、更なる教職員の負担の軽減を図ることができました。</li> <li>4 持続可能な部活動の推進【重点】 令和5年度前半(4月～10月)は、令和4年度に引き続き、運動部活動を2校の中学校で9部活、合同部活動を4部活、合計13部活を実施しました。 さらに、後期(12月)は、全中学校で21部活、合同部活動2部活を実施しています。このことにより、一部の教職員の働き方改革の推進を図ることができました。 ○篠津中学校(剣道) ○善哉中学校(男子・女子バスケットボール、男子・女子ソフトテニス、卓球、吹奏楽) ○南中学校(野球、サッカー、陸上競技、男子・女子ソフトテニス、ソフトボール、バレーボール、男子・女子バスケットボール、卓球、剣道、吹奏楽) ○白岡中学校(男子ソフトテニス、吹奏楽) ○合同部活動(ダンス、プログラミング)</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>教職員の働き方改革は、国をあげて早急に解決していかなければならない課題である。本市は、業務内容の精選に早くから取り組んできており、実績がある。とはいえ、中学校では部活動の指導が教職員にとって、心身の負担を強めていることは過去から現在においても否定できない。そのような課題を受け、本市では県内においていち早く一昨年度から持続可能な部活動の推進に取り組んできている。地域クラブとして今年度は13部活（後期に21部活）を実施し、さらには生徒の今日的なニーズに応じたダンスとプログラミングを実施していることなどを高く評価する。部活動を地域クラブへと移行すれば、それで中学校教職員の働き方改革が完結するわけではないが、大きな歩みであり、今後も研究実践を重ね、生徒も保護者も教員も納得できる形の地域クラブを実現していかなければならない。そうしてこそ初めて生徒としっかりと向き合う時間が確保され、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに勤しむことができる。一層の加速感をもって取り組んでほしい。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>校務のICT化の推進（校務支援システムの導入・会議資料等のペーパーレス化等）によるさらなる業務改善や働き方改革を進めていきます。 専門性の高い教員・支援員を配置することによる質の高い教育の提供と、教職員の負担軽減や子供と向き合う時間の確保を行っていきます。 休日の部活動における段階的な地域移行を推進します。地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」を目指します。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成
施策の方向	①家庭・地域・学校の連携・協働
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校運営協議会の設置と充実</li> <li>2 学校運営協議会間の連絡体制の構築</li> <li>3 学校応援団活動の推進</li> <li>4 幼保小連絡会</li> <li>5 持続可能な部活動の推進</li> <li>6 学校ホームページによる情報発信の充実</li> <li>7 学校公開の実施</li> <li>8 「広報しらおか」等による情報発信の充実</li> </ol>
目標	<p>各学校のホームページや「広報しらおか」等による情報発信を充実させるとともに、学校公開を実施し、地域に開かれた学校づくりを行います。学校応援団の活用や学校運営協議会の設置と充実、学校運営協議会間の連絡体制の構築など、家庭・地域との連携・協働を図ります。幼稚園・保育所・小学校の連絡会を実施するなど、接続期の情報交換を充実させていきます。</p> <p>また、休日の部活動の地域移行を推進し、専門性を有した地域人材を活用することで、生徒がより専門的な指導を受けられるようにします。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校運営協議会の設置と充実【重点】 子どもたちをよりよく育てるための学校を応援し、地域の実情を踏まえた特色のある学校づくりを進めるため、全ての学校に学校運営協議会を設置し、年間3回会議を行いました。このことにより、学校における地域住民との連携・協働体制を組織的・継続的に確立することができました。第1回の開催の際には、指導主事が会議に参加し、学校運営協議会の趣旨等について説明を行うことで、共通理解を図りました。</li> <li>2 学校運営協議会間の連絡体制の構築【重点】 学校運営協議会間の連絡体制を構築するため、教育委員会が主体となり、各校の学校運営協議会をつなぐ働きかけを行いました。このことにより、共通理解を図ることができ、各校の学校運営協議会の充実を図ることができました。会議実施後、各校が実践報告書を提出し、全校で共有しました。優良事例のみならず、上手くいかなかった事例についても共有し、今後に生かしていくことができました。</li> <li>3 学校応援団活動の推進 学校応援団活動を推進するため、国・県通知を周知するとともに、講演会についての案内や予算の配当（各校1万円の消耗品費）を行いました。このことにより、保護者や地域住民による学校の学習活動、安心・安全確保、環境整備などについて協力・支援の充実を図ることができました。</li> <li>4 幼保小連絡会 幼・保・小の連携については、国・県通知（子育ての目安「3つのめばえ」）を周知するとともに、アプローチカリキュラム（幼稚園・保育所等における5歳児の1月～3月）、スタートカリキュラム（小学校第1学年の4～6月）を作成しています。このことにより、幼稚園・保育所と小学校とのスムーズな接続を図ることができました。 ・幼稚園・保育所、小学校によるアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの作成・見直し</li> </ol>

事業実績・成果	<p>5 持続可能な部活動の推進【重点】（再掲）  令和5年度前半（4月～10月）は、令和4年度に引き続き、運動部活動を2校の中学校で9部活、合同部活動を4部活、合計13部活を実施しました。  さらに、後期（12月）は、全中学校で21部活、合同部活動2部活を実施しています。  このことにより、一部の教職員の働き方改革の推進を図ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○篠津中学校（剣道）</li> <li>○菁莪中学校（男子・女子バスケットボール、男子・女子ソフトテニス、卓球、吹奏楽）</li> <li>○南中学校（野球、サッカー、陸上競技、男子・女子ソフトテニス、ソフトボール、バレーボール、男子・女子バスケットボール、卓球、剣道、吹奏楽）</li> <li>○白岡中学校（男子ソフトテニス、吹奏楽）</li> <li>○合同部活動（ダンス、プログラミング）</li> </ul>
	<p>6 学校ホームページによる情報発信の充実  各校において適時発信をしています。人事評価に係る面談においても、評価領域Ⅱ「開かれた学校づくり」の目標・方策等を確認し、適切に情報発信が行われるよう指導をしています。  このことにより、学校ホームページによる発信が適切に行われ、「地域とともにある学校づくり」が推進されています。</p>
	<p>7 学校公開の実施  学校公開の実施については、各校が創意工夫し、行事の公開や授業の公開など、適切に学校公開を行うことができました。</p>
	<p>8 「広報しらおか」等による情報発信の充実  「広報しらおか」等による例年の情報発信だけでなく、教育指導課のホームページにおいて、教育に関わる情報を広く市民に周知しています。  このことにより、学校教育について、広く市民に周知することができました。</p>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>昨年度において、全小中学校の学校運営協議会の設置が完了した。定期的に会議を開催し、地域の実情を踏まえた特色ある学校づくりの推進に大きく寄与している。また、教育委員会が主体となって各学校運営協議会間をつなぐ役割を果たした。このことは高く評価できる。今後は、その充実を目指し一層盤石な組織として発展することを期待する。そのために、一人でも多くの保護者、地域住民に正しく深い理解をしてもらうための啓発活動を継続的に行っていくことが大切であると考えます。</p>
課題 今後の対応方針	<p>全小中学校に設置となった学校運営協議会については、今後も定期的な会議の開催により、家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成を目指していきます。学校公開やホームページ、広報しらおかを活用した情報発信については、教育委員会と学校が連携し、更なる充実を図っていきます。</p>
評価結果	B
担当課	教育指導課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(4) 家庭・地域・学校が一体となった子どもの育成
施策の方向	②ふるさと意識の醸成
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 埼玉の子ども70万人体験活動</li> <li>2 白岡歴史・史跡研修会</li> <li>3 小学校社会科副読本「しらおか」の活用</li> <li>4 大学と連携した給食メニュー開発</li> </ol>
目標	<p>小学校社会科副読本「しらおか」を活用し、ふるさと白岡に対する理解を深める教育の充実を図ります。加えて、大学と連携した地元食材を活用した給食メニューを提供するなど、ふるさと意識の醸成を図ります。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 埼玉の子ども70万人体験活動（再掲） 市内小・中学校に県通知の内容を周知し、地域性を活かした取組を行っています。体験活動の状況については、各校でまとめ、教育指導課において掲示をしました。 このことにより、生活科や総合的な学習の時間を中心に、児童生徒の体験活動の充実が図られました。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>2 白岡歴史・史跡研修会 7月27日、初任者を対象に、生涯学習課担当者による「ふるさと白岡」に係る研修を行いました。 このことにより、児童生徒を指導する教職員自ら白岡市の歴史に触れることで、ふるさと意識の醸成を図ることができました。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 小学校社会科副読本「しらおか」の活用 社会科副読本編集委員会を3回開催し、「ICTの効果的な活用」「年間指導計画の充実」に向け、取り組みました。 このことにより、小学校3・4年生に対して、学習指導要領に則った社会科の授業を行うことができました。また、副読本のデジタル化を推進し、来年度からデジタル副読本として運用することができるようになりました</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 大学と連携した給食メニュー開発 女子栄養大学と給食のメニュー開発に向けて、オンライン会議や調理実習を実施しました。 その結果、SDGsを意識し、地場産物を利用したメニューを6品開発しました。 このことにより、地場産物を取り入れた給食の提供に向けて、児童・生徒のふるさと意識の醸成を図ることができました。</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>児童にふるさと意識を身に付けさせるためには、小学校3・4年生での社会科授業で郷土理解を深めさせるところが大きい。とりわけ社会科副読本「しらおか」の活用は大切である。副読本の編集に際し、編集委員会を3回開催し現場の教員の声を反映させて編集していることは意義がある。特に、県内でもいち早くデジタル版を作成し、それをタブレット端末にインストールして活用していることが評価できる。</p> <p>女子栄養大学学校給食・食育研究室と連携し、地場産物を使用した家庭で作れるレシピの開発を進めたことにより、児童・生徒のふるさと意識の醸成を図ったことは評価できる。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>小学校社会科副読本「しらおか」の活用については、今後も編集委員会を定期的開催していくことにより、教職員の声を反映させ、子ども達の学びが深まるような資料となるよう、充実を図っていきます。埼玉の子ども70万人体験活動については、地域の人材を活用し、充実した活動となるよう、実施方法や内容について検討を進めていきます。</p> <p>実際に児童・生徒に対し、開発したメニューを提供し、地場産物について触れる機会を増やす必要があります。今後は、市制施行記念や学校給食月間など、ふるさと白岡と関りのある際に提供し、地場産物に触れる機会を増やしていけるよう努めてまいります。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課・教育総務課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備
施策の方向	①教育環境の整備・充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1人1台端末の利活用に向けた学校の通信環境の整備</li> <li>2 小・中学校施設の計画的な改修などを実施</li> <li>3 安全確保のための学校施設点検の実施</li> </ol>
目標	<p>GIGAスクール構想の推進を踏まえ、学校における通信環境の整備を行います。学校図書館については、蔵書の質・量の両面から充実を図り、児童生徒の読書活動や調べ学習などに資するものとしていきます。</p> <p>児童生徒数の推移に合わせた学校規模の適正化について総合的に検討するため、学区審議会を開催します。</p> <p>児童・生徒が安心安全に学校生活を送ることが出来るように市職員による安全点検（月2校）を継続して実施することに加え、専門業者による赤外線及び打診併用による調査を菅莪小学校北校舎を対象に実施します。また、市長部局との連携による公共施設再編計画に学校規模適正化の視点を踏まえた計画とするように策定作業を進めます。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1人1台端末の利活用に向けた学校の通信環境の整備 学校の通信環境の整備のため、学校からの修理依頼等に対し、GIGAスクールサポーターやICT支援員が適切に対応しました。 このことにより、児童生徒が1人1台端末を活用した学習を進めることができました。 (1) GIGAスクールサポーター1名 (2) ICT支援員1名 (3) GIGAスクールサポーター（繁忙期対応）2名</li> <li>2 市立小学校劣化度調査事業【重点】 専門業者による外壁劣化状況調査を実施し、また職員による安全点検を各校2回実施しました。 このことにより学校施設の安全確保に努めることができました。 ・令和5年度白岡市立小学校外壁劣化度状況調査業務委託の実施 ・菅莪小学校 9月実施 緊急修繕の必要性はないとの調査結果を得ましたので、引き続き経過観察を行います。</li> <li>3 学校規模適正化 学校規模適正化の計画については、教育委員会事務局内部で素案作成を進めており、内部会議を実施しました。 市長部局との連携による公共施設再編計画については、この学校規模適正化の計画素案作成に併せて進めることとしました。 また、学校規模適正化の視点から大山小学校については、できるだけ早い統廃合の必要性があると判断し統廃合に向けた手続きを進めています。 これらを通じて、より良い学校教育環境の実現に向けて進めていきます。</li> </ol>
達成度	B
学識経験者の意見	劣化が進む校舎の外壁について現況調査を行い、安全確保に努めている適正化のために素案作成から内部会議を開催したこと、また、学校規模適正化の視点から大山小学校の統廃合の手続きを進めたことは評価できる。引き続き、児童・保護者を第一に進めるよう努めてほしい。

<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>学校の通信環境の整備のため、学校からの修理依頼等については、GIGAスクールサポーター1名及びICT支援員1名で対応していますが、年度末の新年度に向けた更新作業等の繁忙期については、GIGAスクールサポーター2名を追加で任用するとともに、端末更新作業マニュアルを作成する等、移行作業を適切に行った結果、スムーズに整備を進めることができました。</p> <p>施設老朽化という課題に対し、継続した安全点検を実施し児童・生徒が安全安心に学校生活を送ることができるように努めます。</p> <p>学校適正規模・適正配置計画を令和8年度中に策定を完了することを目標とし、計画の基礎となる現況把握及び将来推計を進めていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課・教育総務課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

<b>施策目標</b>	2 学校教育の充実
<b>施策項目</b>	(5) 児童生徒が安心して通うことができる教育環境の整備
<b>施策の方向</b>	②安全安心の確保
<b>主な取組</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全教育の推進</li> <li>2 各校での危機管理マニュアルの見直し</li> <li>3 実効的な避難訓練の実施</li> <li>4 防犯パトロールと防災しらおかの放送による安全の呼びかけ</li> <li>5 学校メール配信システムによる不審者情報等の周知</li> <li>6 子ども110番の家の設置の推進</li> <li>7 スクールガードリーダー・防犯ボランティアによる見守り</li> </ol>
<b>目標</b>	<p>頻発する自然災害や感染症対策等を踏まえ、各校での危機管理マニュアルの見直しを行うとともに、実効的な避難訓練を実施するなど児童生徒が自らの命を守ることができるよう防犯・防災教育を推進していきます。また、スクールガードリーダー、防犯ボランティアなどとともに、地域ぐるみで子どもたちの安全を守ることができるようにします。</p>
<b>事業実績・成果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全教育の推進【重点】 安全教育の推進について、市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、校長会・教頭会においても、学校の施設・設備を含めた安全管理の徹底について指導を行いました。 このことにより、現時点では大きな事故もなく、学校運営が行われています。また、学校においては、学級活動や保健体育の授業、交通指導員による交通安全教室（横断歩道の渡り方、自転車の乗り方）など、学校教育全体で安全教育が行われています。</li> <li>2 各校での危機管理マニュアルの見直し 各校での危機管理マニュアルの見直しについて、市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、校長会・教頭会においても、学校の危機管理マニュアルの定期的な見直しを図るよう指導を行いました。見直し後のマニュアルは、教育指導課で確認しています。 このことにより、現時点では大きな事故もなく、学校運営が行われています。</li> <li>3 実効的な避難訓練の実施 市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、校長会・教頭会においても、内容の見直し等において指導を行いました。 このことにより、より実効性のある避難訓練（休み時間における地震）を実施することができました。</li> <li>4 防犯パトロールと防災しらおかの放送による安全の呼びかけ 防犯パトロールと防災しらおかの放送による安全の呼びかけについて、適宜教育指導課職員による防犯パトロールを実施しています。また、防災しらおかの放送については、市内小学校代表児童による録音・放送を行い、下校後の安全について注意喚起を行っています。 このことにより、児童生徒の安全確保について、児童生徒や保護者、地域住民への啓発を図ることができました。</li> <li>5 学校メール配信システムによる不審者情報等の周知 学校メール配信システムによる不審者情報等の周知については、教育指導課に入った不審者情報等を学校に周知し、学校から保護者に対しメール配信を行っています。 このことにより、保護者への啓発を図ることができました。</li> </ol>

事業実績・成果	<p>6 子ども110番の家の設置の推進          校長会・教頭会において、児童生徒へ「子ども110番の家」の理解・促進を図るよう指導しています。          このことにより、児童生徒一人一人が、登下校時の安全確保（自分の身は自分で守る）について理解を深めました。          ・子ども110番の家登録件数 348件（令和6年3月31日現在）</p> <p>7 スクールガードリーダー・防犯ボランティアによる見守り          スクールガードリーダー・防犯ボランティアによる見守りについて、市内小・中学校に国・県通知の内容を周知するとともに、スクールガードリーダーによる見守り報告を確認し、実効性のある取組となるよう指導を行っています。          このことにより、さらなる安心・安全への体制を整えることができました。          ・市内全ての小学校に、1人ずつスクールガード・リーダーを配置</p>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>教育委員会が主体となって、校長会・教頭会において、施設設備を含めた安全管理の徹底について指導を行ってきたことで大きな事故なく学校運営が行われていることを評価する。また、学校教育全体で児童生徒への安全教育が行われ、大きな事故が起きていないことを評価する。しかしながら、今後さらに予想される交通事情の悪化を考えると、小学校高学年から中学生の自転車の乗り方の啓発指導の充実が一層大切になるであろう。</p>
課題 今後の対応方針	<p>子どもたちの安心・安全のため、引き続き地域の方々の協力を得ながら、今後も防犯パトロールなどの充実を図り、子どもたちを見守っていきます。</p>
評価結果	B
担当課	教育指導課

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(6) 多様なニーズに応える教育活動
施策の方向	①特別支援教育の充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特別支援学級の整備</li> <li>2 通級指導教室の充実</li> <li>3 教育補助員の活用・拡充</li> <li>4 指導主事等による巡回相談</li> <li>5 就学支援委員会の開催</li> <li>6 インクルーシブ教育の推進</li> <li>7 特別支援学校のセンター的機能の活用</li> </ol>
目標	県立特別支援学校のセンター的機能を活用し、特別な支援が必要な児童生徒への支援方法の充実、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、特別支援学級の整備や通級指導教室の充実を推進します。
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特別支援学級の整備 各小・中学校に特別支援学級を適切に設置するため、学校との連携や保護者との就学相談を実施しました。 このことにより、各校において、児童生徒の特性に応じた特別支援学級を整備することができました。 ・篠津小（知的学級1、自閉情緒学級1、難聴言語通級指導教室1） ・菫莪小（知的学級1、自閉情緒学級1） ・大山小（知的学級1、自閉情緒学級1） ・南小（知的学級1、自閉情緒学級2、肢体不自由学級1） ・西小（発達障害・情緒障害通級指導教室1、知的学級2、自閉情緒学級2） ・白岡東小（発達障害・情緒障害通級指導教室1、知的学級1、自閉情緒学級1） ・篠津中（知的学級1、自閉情緒学級1） ・菫莪中（知的学級1、自閉情緒学級1） ・南中（知的学級1、自閉情緒学級1） ・白岡中（知的学級1、自閉情緒学級1）</li> <li>2 通級指導教室の充実 通級指導教室の充実を図るため、通級指導教室設置校（篠津小、西小、白岡東小）と、児童の在籍校で指導の記録を共有しました。 このことにより、現在の状況について在籍校が適切に把握することができ、対象児童への指導・対応に生かすことができました。 ・篠津小（難聴言語通級指導教室） ・西小（発達障害・情緒障害通級指導教室） ・白岡東小（発達障害・情緒障害通級指導教室）</li> <li>3 教育補助員の活用・拡充 補助員等を適切に配置・活用できるよう、教育補助員が、毎日業務内容を記録するとともに月末には教育指導課において確認しています。内容によっては、校長に指導する等、より適切な運用を行いました。 このことにより、児童生徒への指導・対応が適切に行うことができました。 ・生活補助員（小・中学校）21名 ・支援相談員 6名 ・さわやか相談員 4名</li> </ol>

事業実績・成果	<p>4 指導主事等による巡回相談 指導主事や就学支援委員会委員による巡回相談（児童生徒の状況確認、教職員への指導）を行いました。 このことにより、特別に支援を要する児童生徒への適切な指導・対応について共通理解を図ることができました。 ・全小・中学校に対して実施（小学校9回、中学校4回）</p>
	<p>5 就学支援委員会の開催 就学支援委員会を年間4回開催しました。 このことにより、児童生徒一人一人の教育的ニーズ（特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室）に応ずることができました。</p>
	<p>6 インクルーシブ教育の推進 インクルーシブ教育の推進を図るため、交流学級及び支援籍学習を行いました。 このことにより、より一層特別支援教育への理解を深めることができました。 ・各学校における交流学級の実施 ・支援籍交流の実施（善哉中学校、南小学校、西小学校）</p>
	<p>7 特別支援学校のセンター的機能の活用 特別支援学校のセンター的機能を活用するため、久喜特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りました。 このことにより、児童生徒の現状を把握し、指導・対応について、教職員へ助言等を行うことができました。 ・全小・中学校への巡回相談の実施（小学校12回、中学校4回）</p>
	<p>8 特別支援教育研修会 奥山こどもクリニック院長の奥山力氏を指導者として招き、医療の視点から見た特別な配慮が必要な児童生徒への対応に関する研修を行いました。 ・第1回（1月25日）講義 ・第2回（2月8日）及び第3回（3月7日）事例に基づいた支援会議</p>
達成度	B
学識経験者の意見	全小・中学校に特別支援学級を設置し、教育補助員の活用や県立特別支援学校との連携、計画的な巡回指導等により特別支援教育の充実を図っていることを評価する。また、近年の状況を踏まえて通級指導教室を3学級設置し、対象児童の指導が適切に行われていることを評価する。一方でこの教室を担当する教員には高い専門性が必要なので継続的に研修を行ってほしい。さらに、見直しをもって担当できる教員の育成に努めてほしい。
課題 今後の対応方針	通級指導教室「こすも」「すばる」、言葉の教室の3つを担当する教員は、高い専門性が求められます。常日頃から研修への参加や、自己研鑽を積まなくてはなりません。また、全小・中学校の特別支援学級を担当する教員にも同じことが言えます。子どもたちを取り巻く環境、社会情勢の変化に適応することが求められています。 今後は、会計年度任用職員の活用や交流学級との密な連携をはじめ、巡回指導を活かしていくことが大切になります。
評価結果	B
担当課	教育指導課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(6) 多様なニーズに応える教育活動
施策の方向	②不登校児童生徒への支援
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育支援センターの充実</li> <li>2 教育相談の充実</li> <li>3 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化</li> </ol>
目標	<p>様々な理由から不登校となっている児童生徒やその保護者、教職員からの相談に応じ、適切な支援を行っていくため、引き続き相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制の充実を図ります。</p> <p>また、不登校児童生徒の社会的自立に向けた集団適応指導、学習指導等を行い、教育支援センターの充実に努めます。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育支援センターの充実【重点】                      教育支援センターの充実を図るため、市内小・中学校の不登校児童生徒数や各校の教育相談件数等を鑑み、適切な人員を配置しました。また、令和4年度から常勤の所長を任用するとともに、長期休業中においても、相談業務を行いました。                      このことにより、教育支援センターにて、児童生徒の学習支援、保護者相談、発達検査等、適切な運営を行いました。                      ・現在26名の児童生徒が通室                      ・所長1名、支援員5名・相談員等4名の配置</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>2 教育相談の充実（再掲）                      教育相談の充実を図るため、各校で開催されている教育相談連絡会に指導主事が参加しました。また、電話や面談により保護者と教育相談を行いました。                      このことにより、生徒指導・教育相談上、支援を要する児童生徒を把握するとともに、指導・対応について助言を行うことで、早期の解決を図ることができました。                      ・教育相談連絡会の実施（小学校18回、中学校12回、合計30回）                      ・電話や面談による保護者との相談件数（小学校8件、中学校4件）</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と連携強化【重点】（再掲）                      相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを小・中学校に適切に配置しました。                      このことにより、小・中学生や保護者からの相談に対応し、いじめ等の早期発見・早期解決の一助となりました。                      ・支援相談員（全小学校に配置 6名）                      ・さわやか相談員（全中学校に配置 4名）                      ・スクールカウンセラーの配置（小学校2名、中学校に1名）                      ・スクールソーシャルワーカーの配置（教育支援センターに県費・市費兼務1名）</li> </ol>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>不登校児童生徒数の増加は、国全体で見られる課題となっている。本市では教育相談体制の充実を図って対応しているが、特に教育支援センターの役割は大きい。適切な人員配置や昨年度から常勤の所長を任用するなどして着実な運営ができていることを評価する。</p>

<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>不登校児童生徒が増えています。教育相談の体制を見直し、教育支援センターと密に連携を取り、対応しています。しかし、社会の変化や友人関係など、複数の要因からなることもあり、複雑化しています。 これからもスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーをはじめ、各学校との連携を強化していきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(6) 多様なニーズに応える教育活動
施策の方向	③外国人児童生徒・帰国児童生徒への支援
主な取組	1 児童生徒の日本語指導の補助
目標	日本語指導が必要な児童生徒に対して、日本語指導補助員を配置できるよう必要な人材を確保し、支援の充実を図ります。
事業実績・成果	<p>1 児童生徒の日本語指導の補助          児童生徒の日本語指導のため、会計年度任用職員を3名、5校に配置しました。          このことにより、対象児童生徒7名の日本語活用能力の向上を図ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・篠津小学校（会計年度任用職員1名）・・・対象児童1名（4年生）週1回2時間</li> <li>・荻荻中学校（上記の学校と兼務）・・・対象児童1名（1年生）週2回1時間ずつ</li> <li>・南小学校（会計年度任用職員1名）・・・対象児童2名（4年生2名）週1回2時間</li> <li>・篠津中学校（会計年度任用職員1名）・・・対象生徒1名（1年）週2回1時間ずつ</li> <li>・南中学校（上記の学校と兼務）・・・対象生徒2名（1年1名、2年1名）週2回2時間ずつが2名</li> </ul>
達成度	B
学識経験者の意見	本市においても外国人児童生徒数は年々増加している。対象児童生徒が1日も早く級友との仲を深め、学級に適應できるよう日本語指導補助員を適切に配置していることを評価する。今後は、多様化が一層進むことが予想されるので多くの言語に対応できるよう人材を確保しておくことが望まれる。
課題 今後の対応方針	外国人児童生徒数は年々増加しており、通常の学校生活においても言葉による障がいや悩んでいる子が多い状況です。今現在、週に1～2回個別指導により日本語を指導する時間を設けていますが、今後はその指導によってどの程度の成果があったのか、またどのように子供が変容したかについても把握し、更なる指導の向上につなげていきます。
評価結果	B
担当課	教育指導課



白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	2 学校教育の充実
施策項目	(6) 多様なニーズに応える教育活動
施策の方向	④経済的支援
主な取組	1 就学援助制度（白岡市就学援助費の受給者に臨時給付金支給事業を併せて実施） 2 特別支援教育就学奨励制度 3 入学準備金貸付制度
目標	経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、就学援助制度、特別支援就学奨励制度、入学準備金貸付制度などの支援制度があります。これらの制度の周知に努め、保護者の経済的負担の軽減を図ります。また、併せて新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う深刻な経済的影響等を踏まえ、白岡市就学援助費の受給者を支援するために臨時給付金を支給します。
事業実績・成果	<p>1 就学援助制度（白岡市就学援助費の受給者に臨時給付金支給事業を併せて実施） 経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学援助費を支給しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う深刻な経済的影響等を踏まえ、白岡市就学援助費の受給者を支援するため、併せて臨時給付金を支給しました。 このことにより、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、適切に支援することができました。</p> <p>(1) 就学援助費【3月末日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校（要保護児童数12名、準要保護児童数161名） 10,622,676円</li> <li>・中学校（要保護生徒数8名、準要保護生徒数93名） 8,424,738円</li> <li>・入学前支給（支給対象者数16名） 864,960円</li> </ul> <p>(2) 就学援助費受給者に対する物価高騰重点支援臨時給付金【3月末日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校（児童数161名） 805,000円</li> <li>・中学校（生徒数93名） 465,000円</li> </ul> <p>2 特別支援教育就学奨励制度 特別支援学級在籍の特殊性を考慮し、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況に応じ、就学奨励費を支給しました。 本制度については、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して制度の概要を通知し、周知に努めました。 このことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 1,350,980円（3月末日現在48名）</li> <li>・中学校 854,408円（3月末日現在20名）</li> </ul> <p>3 入学準備金貸付制度 広報しらおか11月号及びホームページにおいて貸付けのお知らせを掲載するとともに市立中学3年生の保護者全員にチラシを配布する等、制度の周知を図りました。12月15日から1月15日までの間、申請の相談及び受付を行いました。入学準備金の調達が困難な方に経済的な支援の情報提供ができました。（2月5日審査会開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入学に係る申請1件</li> <li>・大学入学に係る申請1件 合計2件</li> </ul>
達成度	B
学識経験者の意見	本市では、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助制度、特別支援就学援助制度、入学準備金貸付制度などを講じて経済的支援を行っていることを評価する。今後、市民・保護者へあらゆる手段を講じて制度の周知を一層強く進めていくことが肝要である。

<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>就学援助制度については、義務教育の円滑な実施を図るため、真に援助を必要とする児童生徒の保護者に対して、必要な援助が適切な時期に受けられるよう、引き続き就学援助制度の周知に努めていきます。</p> <p>特別支援教育就学奨励制度については、特別支援教育の普及奨励を図るため、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図られるよう、引き続き就学奨励制度の周知に努めていきます。</p> <p>入学準備金の調達が困難な方に必要な情報を届けることが出来るよう制度の周知や募集の広報を広く行う必要があります。</p> <p>引き続き市ホームページや広報紙での周知を図るとともに、支援を必要とする方へ十分な情報が行き届くよう方法を検討し周知に努めていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>教育指導課・教育総務課</p>

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	①生涯学習活動の推進
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ペアーズ!しらおかの拡充</li> <li>2 社会教育委員会議の開催</li> <li>3 生涯学習情報の提供</li> <li>4 社会教育関係団体の支援・利用促進</li> <li>5 公民館講座の充実</li> <li>6 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携</li> </ol>
目標	<p>ペアーズアカデミーや公民館講座のほか、生涯学習センター〔こもれびの森〕の各機能の連携による事業や関係機関との連携による事業を実施し、「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して市民の多様なニーズに対応した学習メニューや生涯学習に関する情報の提供を推進します。</p> <p>また、社会教育関係団体の支援や利用促進を図り、市民の生涯学習活動を推進します。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ペアーズ!しらおかの拡充【重点】 生涯学習事業の基幹となる、ペアーズアカデミーをはじめ、多種多様な内容の講座を開催することで、市民に対し広く学習機会を提供することができました。  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ペアーズアカデミー 6講座16回 延べ292名</li> <li>(2) 学校開放講座 埼玉県立白岡高等学校「葉脈標本をつくる」 12月3日 4組6名</li> <li>(3) 大人の自然観察会 ひこべえの森 春の自然観察会 5月6日 15名</li> </ol> </li> <li>2 社会教育委員会議の開催 市の社会教育行政について、社会教育委員を通して、広く市民の意見を反映することができました。 社会教育委員会議の開催 【1回(6月30日)】 【2回(3月22日)】</li> <li>3 生涯学習情報の提供 「いつでも・どこでも・だれでも」楽しく学び合える生涯学習を推進しています。 市民の学習意欲の高まりと学習ニーズの多様化に応えるため、「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して生涯学習情報の提供をしました。 また、ボランティア精神をふまえた指導者や市内で生涯学習活動をしている団体の情報を広く市民に提供できるよう「ペアーズバンク」を設置し、ペアーズバンクの情報を市公式ホームページに掲載し、生涯学習関連事業への市民参加を促進することができました。  <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「広報しらおか」、市公式ホームページ及びSNSなどを活用して生涯学習関連事業を案内するとともに、事業終了後に市公式YouTubeチャンネルにおいて、事業の様子を配信をしました。</li> <li>(2) ペアーズバンク リーダー 延べ64名 サークル 36団体</li> </ol> </li> <li>4 社会教育関係団体の支援・利用促進 補助金の交付により、文化祭の開催や文連だよりの発行をすることができ、芸術・文化活動の充実、発展に寄与する活動を支援することができました。 ・社会教育関係団体補助金交付 【1団体(白岡市文化団体連合会)】</li> <li>5 公民館講座の充実【重点】 地域の学習拠点として、市民に対して様々な講座を開催し、学習の機会を提供することができました。 今年度は、公民館の役割である「集う」「学ぶ」「結ぶ」ことを促すため、講座で親しくなった参加者がサークルに移行することを目指し、人気のある一部の講座を1年間通しで開催しました。 また、これまでの講座参加者の意見を参考に、様々な講座を開催いたしました。</li> </ol>

	<p>(1) 公民館前期講座(5~9月)  (全15講座、計72回開催、延べ865名参加)</p> <p>ア 運動分野 2講座 計12回開催 延べ224名参加  イ 生活分野 4講座 計23回開催 延べ267名参加  ウ 趣味分野 2講座 計10回開催 延べ80名参加  エ IT分野 2講座 計12回開催 延べ155名参加  オ 夏休み子ども講座 3講座 計7回開催 延べ51名参加  カ 市民企画講座 2講座 計8回開催 延べ88名参加</p> <p>(2) 公民館後期講座(10~3月)  (全11講座、計55回開催、延べ658名参加)</p> <p>ア 運動分野 1講座 計8回開催 延べ188名参加  イ 生活分野 2講座 計17回開催 延べ180名参加  ウ 趣味分野 6講座 計18回開催 延べ132名参加  エ IT分野 1講座 計8回開催 延べ106名参加  オ 市民企画講座 1講座 計4回開催 延べ52名参加</p>
事業実績・成果	<p>6 生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携【重点】  生涯学習機能、図書館機能、資料館機能の連携した講座等の開催により、市民の生涯学習活動の推進を図ることができました。</p> <p>(1) 生涯学習機能、図書館機能の連携  各講座実施時に関連図書の展示</p> <p>(2) 生涯学習機能、資料館機能の連携  ア ペアーズアカデミー  ・連携講座「願いごと叶いますように」  11月9日、16日、24日 延べ52名  イ 親子おもしろミュージアム(ウィークエンドいきいき体験教室事業共同開催)  ・藍のたたき染め教室 8月5日 6組17名  ・まが玉づくり 3月9日 8組 22名</p> <p>(3) 図書館機能、資料館機能の連携  ギャラリー企画展  (願いごと かないますように!~祈りとまじないの白岡遺産~) 連携おはなし会  11月11日、18日、25日 延べ73名</p>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>「学び楽しむまち」づくりのためにも、市民の意向やニーズに合わせた学習機会の提供は継続的に実施されている。</p> <p>今年度も「ペアーズ!しらおか」や公民館講座で多彩な講座が実施された。市民企画講座では、健康長寿等をテーマにした講座が人気であったという。コロナ禍で中断されていた合唱講座は久しぶりの実施で、このように参加者が主体となれる講座の重要性が痛感される。</p> <p>「ペアーズアカデミー」では、「SDGs(生物、環境)」や「国際」など多くの講座が実施された。そのうち後者では、中国や韓国の言語や情勢について学んだということで、「国際」というテーマを身近に感じることができたのではないだろうか。</p> <p>中央公民館でも、多彩な講座が実施され、体育室や調理実習室なども活用されている。なかでも、「夏休み宿題応援講座」や「夏休み子ども講座 親子の楽しい料理」など、子どもや親子が楽しめる講座を実施してきたことを評価したい。中央公民館フェスティバルでも、2日間で約600人の来場者で賑わい、公民館で活動するサークルの成果発表の場として貴重な機会となった。</p> <p>今後も、関心が高い講座を計画したり、受講方法を工夫したり、多くの市民が参加しやすい学習機会の提供に努めてもらうとともに、インターネット利用が困難な年齢層に対しても情報が届くような工夫を継続してほしい。</p> <p>特に、「生涯学習ガイド」が作成されなくなったため、紙媒体である「広報しらおか」の果たす役割は増大すると思われる。「いつでも・どこでも・だれでも」学べるようにするためにも、確実な情報を分かりやすく、幅広い年齢層の市民に届けてもらいたい。</p>
課題 今後の対応方針	<p>引き続き、市民の多様なニーズに対応した学習メニューや生涯学習に関する情報提供を推進していきます。</p> <p>また、中央公民館では、利用者・利用団体の減少が課題であるため、仲間づくり及びサークル化につなげられるような講座を開催していきます。</p> <p>情報提供については、確実な情報を分かりやすく届けられるよう、更なる研究を続けていきます。</p>
評価結果	B
担当課	生涯学習課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	②生涯学習施設・設備の充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生涯学習センターの適正な維持管理</li> <li>2 中央公民館の適正な維持管理</li> </ol>
目標	生涯学習センター〔こもれびの森〕及び中央公民館の適正な維持管理を行い、市民の生涯学習活動の場を提供します。幅広いニーズに対応したサービスの提供を図るとともに、家庭・地域・学校などと連携した生涯学習環境の充実に努めます。
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生涯学習センターの適正な維持管理             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生涯学習・地域コミュニティ・文化創造の拠点として、生涯学習センターの適切な管理運営を図ることができました。 7月16日（日）に来館者100万人を達成しました。 ・令和5年度の入館者数 268,815名</li> <li>(2) 自衛消防活動により火災等の被害を最小限にとどめるため、消防訓練を実施しました。 上半期 8月24日に、消防署の立会いによる消火訓練、通報訓練、避難訓練を実施しました。 職員に対する防災教育の効果が上がるとともに、初期消火をはじめとする自衛消防活動の重要性を認識することができました。 下半期 2月22日に、通常訓練の外、3人1組による消防設備使用訓練を新たに実施しました。</li> <li>(3) シェイクアウト訓練 9月1日に埼玉県議会が主催する「シェイクアウト埼玉（県内一斉防災訓練）」に参加しました。</li> </ol> </li> <li>2 中央公民館の適正な維持管理             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域住民の生涯学習推進の拠点として、公民館の適切な管理運営を図ることができました。 今年度は、新規団体の利用や、利用のなかった茶室の利用もわずかながら見られ、利用者数も前年同時期を上回りました。 ・令和5年度の入館者数 38,900名（3月末現在）</li> <li>(2) 火災等の被害を最小限にとどめ、安心、安全な施設を目指すため、消防訓練を実施しました。 9月21日に、職員及び受付委託業者合同で実施。 消火器の設置場所を再認識するなど、職員及び窓口担当者の防災意識向上につながりました。</li> <li>(3) 災害時の緊急避難所であることから、設備の管理上安全面には十分に注意しておりますが、建物の老朽化による障害が懸念されるため、予算の範囲で可能な修繕を随時実施しました。 ・屋上修繕（雨漏り対策）、誘導灯修繕、講堂の照明修繕、火災報知器の整備を実施しました。空調機（玄関ホール、談話室）の修繕については、令和6年度に繰越して実施予定。 ・シェイクアウト訓練 9月1日に埼玉県議会が主催する「シェイクアウト埼玉（県内一斉防災訓練）」に参加しました。</li> </ol> </li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>生涯学習センター〔こもればの森〕は、昨年7月には、開館からの5年間で来館者100万人を達成しており、多くの市民が利用する施設である。</p> <p>一方の中央公民館でも、多彩な講座が実施され、老朽化は認められるが体育室や調理実習室なども活用されている。中央公民館フェスティバルでは、2日間で約600人の来場者で賑わい、公民館で活動するサークルの活動拠点として親しまれている施設であることがわかる。</p> <p>両施設とも、多くの利用者が安心・安全に施設を利用することができるように、施設の適正な維持管理に努めてもらいたい。それには、日頃の点検などが欠かせないし、防災の備えも重要となる。今年の初めには能登半島で大きな震災が起きている。こうしたことを「自分事」として捉えて備える姿勢を求めたい。市民の生涯学習の場であるからこそ、施設・設備の地道な点検を欠かすことなく、適正な維持管理を徹底して、日常業務に取り組んでもらいたいものである。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>生涯学習センター〔こもればの森〕の適正な維持管理を行い、市民の生涯学習の場を提供していきます。</p> <p>中央公民館においては、コロナ禍で相次いだ団体の解散により減少してしまった利用者を再び呼び戻すことが大きな課題であり、利用団体の新設を促す取り組みを検討しています。</p> <p>また、市民が安心・快適に利用できる生涯学習の場としての環境を整備する必要があるため、細やかなメンテナンスを予定しています。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	③図書館機能の充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画的な資料の収集、提供</li> <li>2 レファレンスサービスの充実</li> <li>3 多様なニーズに対応したサービスの充実</li> <li>4 バリアフリーサービスの充実</li> <li>5 図書館資料、設備を活用した多種多様な学びの機会の提供</li> <li>6 市民との協働による事業の実施</li> </ol>
目標	<p>情報収集の拠点として、効率的、計画的な資料の収集と提供を行うとともに、市民の誰もが利用しやすく、必要な情報を得られるよう、図書館サービスの充実を図ります。 社会や時代に即した図書のテーマ展示や、多種多様な学びの場の提供を行います。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画的な資料の収集、提供 市民の幅広いニーズに対応する資料の収集・提供を行いました。 (1) 総資料数 167,199点 (2) 貸出人数 121,804人 (3) 貸出点数 421,725点</li> <li>2 レファレンスサービスの充実 レファレンスサービスの提供により、市民の学習・研究活動を支援することができました。 レプレアンス件数 3,213件</li> <li>3 多様なニーズに対応したサービスの充実 予約資料の公民館受取サービスや返却ポストの設置等により、利便性向上を図ることで市民の図書館利用を促すことができました。また、図書館が予約連絡メールに用いるアドレスについて、高いセキュリティに対応したものに変更を行い、確実な連絡が可能となりました。 (1) 予約資料の公民館受取サービスの実施 (2) 公共施設に設置した返却ポストの回収 (3) 図書館だより「こもれび通信」の発行 5回(4月、6月、8月、10月、12月、2月) (4) 高いセキュリティに対応した予約メールの導入</li> <li>4 バリアフリーサービスの充実 読書補助具の設置や、図書館の利用支援により、様々な理由から図書館の利用や読書に障がいのある市民の読書活動を支援することができました。 (1) 読書補助具(リーディングトラッカー、リーディングルーペ)の設置 (2) 障がいを持つ利用者に対する図書館利用支援</li> <li>5 図書館資料、設備を活用した多種多様な学びの機会の提供 図書館に関連した講座等の開催により、市民の生涯にわたる学習を支援するとともに、図書館の利用促進を図ることができました。 (1) 文学講座「芭蕉の『おくのほそ道』を読む」 6月7日、14日、6月21日 延べ53名 (2) 歴史講座「誰でもアクセスできる史料から見た江戸時代の白岡 ～国立公文書館・国立国会図書館のデジタルアーカイブを中心に～」 12月6日、13日 延べ40名</li> </ol>

事業実績・成果	<p>(3) ファンファンシネマ(映画観賞会) 12回 延べ519名</p> <p>(4) テーマ展示  ア 児童と一般を対象に季節や年間行事等とテーマとした図書の展示  イ 子ども司書や職場体験の中学生によるテーマ展示</p> <p>(5) 日本工業大学との連携事業  「日本工業大学の先生がすすめる本」の展示(常設)</p> <p>6 市民との協働による事業の実施  図書館ボランティアの養成・連携強化を図るとともに、図書館ボランティアとの連携による事業を実施することで、地域に根ざした図書館サービスを提供することができました。</p> <p>(1) 図書館ボランティアとの連携による事業の実施  ア おはなし会、ちいさい子のおはなし会 毎月第1～3金曜日、第2～4土曜日  イ こもれびの森まつり  ウ 興善寺幼稚園図書館見学 1月11日 年長クラス82名</p> <p>(2) 図書館ボランティアの養成  ア 図書館ボランティア体験講座 2月17日、24日 延べ10名  イ 図書館ボランティア活動日 毎月第3土曜日</p>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>生涯学習センター「こもれびの森」は、多くの市民が利用する施設であり、昨年7月には開館から5年間で来館者100万人を達成した。</p> <p>その100万人目の来館者は市内在住の御家族で記念品が贈られた。この記念品は、「リストから自由に選べる本」で、当該者は大変喜んでいった。図書館機能を有する「生涯学習センター「こもれびの森」」ならではの「心に残る記念品」といえるだろう。こうしたことは、業務の目標には掲げにくいことだが、日頃から市民の気持ちに沿うことを目指して業務に取り組んでいることの表れと感じた。図書館機能の根幹である資料の予約業務についても、いくつかの改善が実施されたことも評価したい。</p> <p>市民との協働による事業の実施という点では、日頃の運営からボランティアが図書館事業を良く支えている。後述する「こもれびの森まつり」においても、大きな役割を果たしていた。今後も、この協働体制は是非とも継続してほしい。</p> <p>集会室1・2で実施される「ファンファンシネマ」も人気の催し物で常連客も多いようだ。上映作品はジャンルが偏らないように職員が選定しており、夏休みには子ども向けのアニメを上映するなどの配慮もみられた。今後は、上映作品を市民からのリクエスト(ただし上映権付の作品に限定)で選定するなど、市民のニーズに応えるのも良い方法かもしれない。</p> <p>図書館としての機能は、目標に掲げた事項を十分に満たしているものであり、今後も継続して業務に臨んで欲しい。</p>
課題 今後の対応方針	<p>図書館では、令和6年度図書館業務システムの更新を予定しております。システムの改善、機能の充実を図り、利便性の向上に努めます。</p> <p>図書館の活動を支えるボランティアについては、高齢化や人数の減少が課題となっております。継続して開催している図書館ボランティア体験講座の参加者について、実際に活動いただけるボランティアへと育成する取組みの充実を図ります。</p> <p>また、「ファンファンシネマ」につきましては、著作権の関係から上映できる作品は限定されますが、ご意見を踏まえ、いくつか候補を挙げたうえで参加者から意見を募る取組みを検討してまいります。</p>
評価結果	B
担当課	生涯学習課

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実
施策の方向	④子どもの読書活動の推進
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 図書館における子どもの読書活動の推進</li> <li>2 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動推進の支援</li> <li>3 子どもの読書活動を推進する体制の整備</li> <li>4 子どもの読書活動推進に関する啓発・広報の充実</li> </ol>
目標	<p>子どもや親子を対象とした事業を実施するとともに、家庭や地域、学校等において子どもたちが自主的に読書に親しめるよう支援します。</p> <p>地域、学校等、図書館の連携強化を図り、子ども読書活動推進計画を着実に推進します。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 図書館における子どもの読書活動の推進【重点】 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが楽しみながら本とふれあうことができる事業を実施することで、子どもたちに幅広い分野の本との出会いや、物語の面白さを体験する機会を提供することができました。</li> <li>(1) おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会（3歳以上対象） 36回 延べ506名</li> <li>ちいさい子のおはなし会（0～3歳対象） 36回 延べ1,070名</li> </ul> </li> <li>(2) 夏休み子ども講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>「友だちにすすめたい本の帯とPOPの作り方講座」 7月26日、27日 40名</li> </ul> </li> <li>(3) 子ども司書養成講座 8月18日、19日 延べ8名</li> <li>(4) 子ども司書活動日 毎月第3土曜日</li> <li>(5) 第12回しらかわ本の帯・POPコンクール <ul style="list-style-type: none"> <li>応募作品数：本の帯部門160点、POP部門395点</li> <li>作品展示：12月1日～12月10日</li> </ul> </li> <li>(6) 図書館本の福袋 乳児、未就学児、小学生を対象に40袋を配布 1月5日</li> <li>(7) 生涯学習センター米館者100万人達成記念テーマ展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>7月17日～7月23日</li> </ul> </li> <li>(8) 日本工業大学との連携事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>11月18日開催のしらかわ秋の彩りフェスタにおいて実施</li> <li>ア 「ふしぎ！誰でも作れるやじるべえ『バランストンボ』を作ろう！」 81名</li> <li>イ 「光に集まるロボットを製作しよう！」 40名</li> </ul> </li> <li>(9) 動物愛護週間イベント（わんにゃんフェスタ）関連おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>9月23日 17名</li> </ul> </li> <li>(10) 埼玉県推奨図書展示 12月1日～12月10日</li> </ul> </li> <li>2 家庭・地域・学校等における子どもの読書活動推進の支援【重点】 <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を介した親子のふれあいを支援するブックスタート事業や、学校等を訪問して行うブックトーク等により、家庭や学校等における子どもの読書活動の推進を支援することができました。</li> <li>また、今年度は新たに天使幼稚園との連携による取組みを実施することができました。</li> <li>(1) 家庭における子どもの読書活動推進の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア ブックスタート（ブックスタートバックの配布と読み聞かせ） <ul style="list-style-type: none"> <li>9回 309組</li> </ul> </li> <li>イ お父さんと一緒に本を読もう！ <ul style="list-style-type: none"> <li>5月28日、8月27日、11月26日、2月25日 延べ24名</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 学校等における子どもの読書活動推進の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 天使幼稚園おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> <li>1月25日 36名</li> </ul> </li> <li>イ ブックトーク <ul style="list-style-type: none"> <li>6月8日、7月13日、10月12日（2回） 4回</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>

事業実績・成果	<p>3 子どもの読書活動を推進する体制の整備【重点】 市が一体となった子どもの読書活動推進に向け、地域・学校等との連携を強化することができました。</p> <p>(1) 学校等への団体貸出、学校巡回サービスの実施 (2) 図書館ボランティア連絡会議の開催 7月6日、9月7日、12月21日 (3) 白岡教育研究会専門部学校図書館部会への参加 (4) ブックスタートボランティア研修会 5月19日 17名 (5) 子育てネット「にこ梨ん♪」主催ベビーサロンへの協力 5月31日、11月8日</p> <p>4 子どもの読書活動推進に関する啓発・広報の充実【重点】 子どもの読書週間等にあわせて今年度初めて企画した「ぐりとぐらのぼうしを作ろう！」等のイベント開催や市内小学校の図書館見学の受入等により、子ども達の図書館や読書に対する関心を高めることができました。</p> <p>(1) こどもの読書週間における事業 記念缶バッジの配布 4月23日～5月12日 計50個 「みんなでとぼそう！紙ひこうき！」 5月5日 25名 (2) 秋の読書週間における事業 「ぐりとぐらのぼうしを作ろう！」 10月28日 24名 (3) 図書館見学、職場体験の受入 見学：小学校4校172名、幼稚園1園82名 職場体験：中学校4校18名</p>
達成度	A
学識経験者の意見	<p>本市では「白岡市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組を進めている。これまでも実施されてきた「子どもの読書活動の推進」に係る様々な取組は着実に成果を上げていているといえるだろう。今後のさらなる展開に期待したい。</p> <p>子どもが本に親しむ機会は、体験事業からもたらされることもある。今年度は、こどもの読書週間事業として「みんなでとぼそう！紙ひこうき！」が実施され、その製作体験が科学図書への興味を引き出した。また、秋の読書週間には、帽子作りのワークショップと絵本の読み聞かせが実施された。新たに多彩なアプローチで本に親しむ機会を提供したことを評価したい。</p> <p>他にも、夏休み子ども講座では「友だちにすすめたい本の帯とPOPポップの作り方講座」が実施され、後日、それらが展示されて多くの市民の目を楽しませた。</p> <p>各小・中学校においても読書活動の推進に取り組んでいるところであり、今後も子どもの読書活動推進のため、図書館を核とした家庭・地域・学校等との連携を一層強化していくことが望まれる。</p>
課題 今後の対応方針	<p>令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更を受け、ブックスタートでのボランティアによる絵本の読み聞かせを再開することができました。また、読書週間のイベントや本の帯・POPコンクール等これまで継続して実施している事業に加え、しらおか秋の彩りフェスタにおける日本工業大学との連携事業や天使幼稚園を訪問してのおはなし会等、新たな取組みも実施することができました。</p> <p>今後はこれらの取組みを継続・発展させていく必要があります。「白岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、地域や学校等との更なる連携を図ることで、市が一体となって子どもの読書活動を推進していく体制を強化してまいります。</p>
評価結果	A
担当課	生涯学習課

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実																							
施策項目	(1) 市民ニーズに応じた学習メニューの提供や図書館機能の充実																							
施策の方向	⑤ 枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化																							
主な取組	1 こもれびの森まつりの開催 2 各種計画との連携によるイベントの開催																							
目標	こもれびの森まつりや、各種計画との連携によるイベントを開催するとともに、地域、学校などと協働を推進し、生涯学習活動の連携強化に努めます。																							
事業実績・成果	<p>1 こもれびの森まつりの開催 4年ぶりの開催となる今回は、市役所周辺を会場とした市の新たなイベント「しらおか秋の彩りフェスタ」の一部として開催しました。外部組織や市民ボランティア、近隣大学との連携・協働により、多様な事業を実施することができました。また、イベントのスケールメリットにより、生涯学習センターを利用したことがないかたに施設や様々な取組みについてPRを行うことができ、生涯学習センターの利用促進を図ることができました。</p> <p>共催：社会福祉協議会、スポーツ推進委員連絡協議会、図書館ボランティア連絡会 協力：日本工業大学、白岡写真愛好会</p> <p>(1) 総来場者数 約3,600名 (2) 開催日 11月18日(土) (3) 各事業の内容等</p> <p>ア 館内スタンプラリー 470名 イ 体カテスト 36名 ウ ミュージアム・クイズ 50名 エ おはなし会(3回) 延べ55名 オ ふしぎ!誰でも作れるやじろべえ「バランストンボ」を作ろう! 81名 カ 光に集まるロボットを製作しよう!(2回) 延べ40名 キ あんぎん編み体験(2回) 延べ20名 ク 古本市 319名 ケ 布の作品の販売 コ 社会福祉協議会コーナー</p>																							
	<p>2 各種計画との連携によるイベントの開催(再掲) 各種計画との連携、地域、学校などとの協働による講座の開催により、市民の生涯学習の機会を提供することができました。</p> <p>(1) 各種計画との連携</p> <p>ア 環境基本計画 ・ベアーズアカデミー(SDGs「生物、環境」)全4回 延べ61名 ・大人の自然観察会「ひこべえの森 春の自然観察会」 5月6日 15名</p> <p>イ 子ども・子育て支援事業計画及び環境基本計画 ・自然観察会 全5回 延べ183名</p> <table border="0"> <tr> <td>夜の昆虫観察会</td> <td>7月15日</td> <td>10組</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月17日</td> <td>9組</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>甲虫の標本を作ろう</td> <td>8月20日</td> <td>7組</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>秋のあぜ道観察会</td> <td>10月21日</td> <td>3組</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>ひこべえの森 冬のつどい</td> <td>12月16日</td> <td></td> <td>94名</td> </tr> <tr> <td>・自然ふれあい体験教室</td> <td>8月3日~4日</td> <td></td> <td>38名</td> </tr> </table>	夜の昆虫観察会	7月15日	10組	33名		7月17日	9組	29名	甲虫の標本を作ろう	8月20日	7組	19名	秋のあぜ道観察会	10月21日	3組	8名	ひこべえの森 冬のつどい	12月16日		94名	・自然ふれあい体験教室	8月3日~4日	
夜の昆虫観察会	7月15日	10組	33名																					
	7月17日	9組	29名																					
甲虫の標本を作ろう	8月20日	7組	19名																					
秋のあぜ道観察会	10月21日	3組	8名																					
ひこべえの森 冬のつどい	12月16日		94名																					
・自然ふれあい体験教室	8月3日~4日		38名																					

事業実績・成果	<p>ウ 子ども・子育て支援事業計画及びしらおかはびすイッチプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼの学校 全4回(連続講座) 延べ40組102名</li> <li>田植え体験 5月13日 10組25名</li> <li>田んぼの草花や生き物観察会 6月10日 10組26名</li> <li>稲刈り体験 9月10日 9組23名</li> <li>じめ縄作り 11月12日 11組28名</li> <li>・わいわい料理教室 全3回 延べ16組40名</li> <li>うどん打ち 7月8日 9組22名</li> <li>ピザづくり 11月4日 5組12名</li> <li>11月25日 2組6名</li> </ul> <p>(2) 学校等との協働事業</p> <p>ア 市内中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察会 ひこべえの森 冬のつどい 12月16日 51名</li> <li>篠津中学校 6名、菅莪中学校 19名、南中学校 24名、白岡中学校 2名</li> </ul> <p>イ 埼玉県立白岡高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放講座「葉脈標本をつくる」 12月3日 4組6名</li> </ul> <p>ウ 天使幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天使幼稚園おはなし会 1月25日実施予定</li> </ul> <p>エ 日本工業大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふしぎ!誰でも作れるやじろべえ『バランストンボ』を作ろう!」 81名</li> <li>・「光に集まるロボットを製作しよう!」 40名</li> </ul>
達成度	B
学識経験者の意見	<p>今年度は4年ぶり3度目の開催となる「こもれびの森まつり」が開催された。農業祭などの新たなイベントも加えてリニューアルされ、白岡市の新たな祭り「第1回しらおか秋の彩りフェスタ」の一部としての実施であった。</p> <p>「こもれびの森まつり」だけでも、館内スタンプラリー、体力テスト、ミュージアムクイズ、おはなし会、あんぎん編み体験、古本市、布作品の販売、日本工業大学の協力による製作体験、社会福祉協議会コーナー等々、盛りだくさんの内容で、約3,600人が訪れて楽しんでいた。</p> <p>また、図書館活動においてボランティアがしっかり活動していることは既に述べているが、この日の活動の売り上げを図書館への寄贈本として還元してもらった仕組みは良い取組だと感じた。ボランティアにとっては活動の励みとなり、図書館も蔵書が増えるという良い循環を生んでいる。古本市では購入本を持ち帰る紙袋も用意されていて、行き届いた配慮は市民に喜ばれていた。</p> <p>こうした「市民との協働」を大切に、これまでどおり親しまれる図書館づくりを継続してもらいたい。</p> <p>日本工業大学との連携は、昨年度から行われているが、枠組みを超えた生涯学習活動の連携強化を図るという観点からも意義がある。専門知識を持つ教授や学生からの説明は子どもたちに刺激を与えたことだろう。こうした体験からロボット工学に興味を持つ子どもが現れるかもしれない。イベント会場では、学生ボランティアが活躍していたが、人の出入りが多くて一般市民との見分けがつかないようだったので、識別できるようにビブス等(作業に従事するので吊り下げ名札は不適か)を着用してもらったら良いと感じた。この連携については、今後も一層強化されることを大いに期待したい。</p> <p>あえて難をあげるとすれば、「こもれびの森まつり」のパンフレットには当日のイベントが様々紹介されていたが、「定員」や「参加費」についても明記してほしかった。多くの市民がこのパンフレットを頼りにイベントに参加するのであるから、親切な記載を心掛けてほしい。</p>
課題 今後の対応方針	<p>こもれびの森まつりは「しらおか秋の彩りフェスタ」の一部として開催したことで、予想を上回る市民に参加いただくことができました。市民だけでなく、協力いただいた団体等からも「次回も参加したい」等の好意的な意見をいただいております。</p> <p>一方で、ご意見のとおり、スタッフを見分けるためのビブス等の着用や、パンフレットの表記等、改善すべき点も多く見られました。これらの改善を図るとともに、より多くの市民にご参加いただけるよう、内容の充実を図ってまいります。</p>
評価結果	B
担当課	生涯学習課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(2) 人権教育の推進
施策の方向	①人権教育推進体制の充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 白岡市人権教育推進協議会研修会の開催</li> <li>2 「埼玉人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会への参加</li> <li>3 “じんけん”ふれあいコンサートの開催</li> </ol>
目標	<p>市人権教育推進協議会研修会等を開催し、人権教育の推進を図ります。  「埼玉人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会に参加し、人権教育を推進する体制の充実に努めます。  多くの市民が参加できるような開催方法について検討します。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 白岡市人権教育推進協議会研修会の開催  白岡市人権教育推進協議会総会後にDVD視聴形式の研修会を実施しました。  LGBTQに関する基礎知識を学び、性の多様性の理解促進及び人権意識の高揚が図られました。  (1) 演 題 「性の多様性とLGBTQ+(プラス)誰もが自分らしく生きるために」  DVD上映  (2) 日 時 令和5年6月22日(水)午後2時から2時45分まで  (3) 参加人数 71名</li> <li>2 「埼玉人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会への参加  「第32回埼玉人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会に参加しました。  このことにより、人権問題に対する理解と認識を深めることができました。  (1) 第32回埼玉人権を考えるつどい 令和5年10月5日(木) 越谷コミュニティセンター 参加者35名  (2) 各種人権教育研修会  白岡市老人クラブ連合会総会において人権講話を実施 参加者92名  第48回埼玉県人権教育研究集会に参加 参加者 3名</li> <li>3 “じんけん”ふれあいコンサートの開催【重点】  12月の人権週間に合わせて、市内小中学校の児童・生徒の人権作文・標語の発表及び表彰を行いました。また、表彰式後には、“じんけん”ふれあいコンサートと題して、市内のイングリッシュハンドベル団体のティンカーベルしらおかによるハンドベルの演奏がありました。  このことにより、人権問題について、正しい見方と考え方をもち、身近な問題として考えることができ、人権教育の重要性が再認識できました。  12月9日(土) 参加者110名  ※人権作文・標語集を作成し、3月に配布しました。</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>人権教育推進協議会研修会は4年ぶりに対面で開催され、総会及びDVD視聴が行われた。これまでは、家庭教育学級合同講座等とも併せたオンラインによる動画配信形式での実施だったが、多くの市民が参加できるように今後はより良い形で開催できるよう検討を重ねてもらいたい。</p> <p>今年度の「人権作文・標語表彰式」は、子どもたちの作文と標語を表彰するに相応しい名称で行われた。発表者は市内の児童生徒で、作文4人・標語10人が壇上で堂々と発表した。全体を通して手話通訳が付いたことは聴覚障がい者の理解を助けるだけでなく、参加者に手話を知ってもらい良い機会にもなったのではないだろうか。</p> <p>こうして発表の機会が設けられたことも、市内のすべての小・中学生が人権問題に向き合っこの課題に取り組めたことも、子どもたちにとって有益であったと思う。</p> <p>また、コロナ禍で昨年度まで中止となってきた「“じんけん”ふれあいコンサート」は、「人権作文・標語表彰式」に引き続き、同日に4年ぶりに実施された。そこでは演奏者が直前に発表した子どもたちの作文や標語の発表にコメントするなど、事業のつながりが若干感じられた。ハンドベル演奏はクリスマス関連の曲が多く演奏されて、幼い子どもも楽しめるコンサートであった。</p> <p>今後、もっと多くの市民に参加してもらいたいのであれば、「表彰式」と「コンサート」をどのように連動させて実施するのが課題であると感じた。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>白岡市人権教育推進協議会研修会等を開催し、人権教育を推進していきます。開催形式については、アンケートの意見等を参考により良い形で開催できるよう検討をしていきます。</p> <p>人権作文・標語表彰式及び“じんけん”ふれあいコンサートについては、人権に対する意識を高められるよう、事業の連動性なども考慮し、開催してまいります。そして、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会づくりを目指します。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(2) 人権教育の推進
施策の方向	②啓発活動の充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「埼玉人権を考えるつどい」や各種人権関係研修会への参加</li> <li>2 “じんけん”ふれあいコンサートの開催</li> <li>3 「広報しらおか」「市公式ホームページ」などで人権教育・人権問題の啓発を実施</li> <li>4 児童・生徒の人権作文集や各種啓発パンフレットの作成・配布</li> </ol>
目標	<p>“じんけん”ふれあいコンサートの開催やリーフレット等を作成・配布します。          「広報しらおか」や「市公式ホームページ」などで人権教育・人権問題の啓発を実施します。          白岡市老人クラブ連合会の総会で人権講話を行います。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「埼玉人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会への参加（再掲）              「第32回埼玉人権を考えるつどい」や各種人権教育研修会に参加しました。              このことにより、人権問題に対する理解と認識を深めることができました。              (1) 第32回埼玉人権を考えるつどい              令和5年10月5日（木） 越谷コミュニティセンター 参加者35名              (2) 各種人権教育研修会              白岡市老人クラブ連合会総会において人権講話を実施 参加者92名              第48回埼玉県人権教育研究集会に参加 参加者3名</li> <li>2 “じんけん”ふれあいコンサートの開催【重点】（再掲）              12月の人権週間に合わせて、市内小中学校の児童・生徒の人権作文・標語の発表及び表彰を行いました。また、表彰式後には、“じんけん”ふれあいコンサートと題して、市内のイングリッシュハンドベル団体のティンカーベルしらおかによるハンドベルの演奏がありました。              このことにより、人権問題について、正しい見方と考え方をもち、身近な問題として考えることができ、人権教育の重要性が再認識できました。              令和5年12月9日（土） 参加者110名              ※人権作文・標語集を作成し、3月に配布しました。</li> <li>3 「広報しらおか」「市公式ホームページ」などで人権教育・人権問題の啓発を実施              人権教育啓発記事「人権それは愛」を、広報しらおかに掲載しました。              このことにより、人権意識の高揚が図られました。              6月号、8月号、12月号、3月号（予定）に掲載</li> <li>4 児童・生徒の人権作文集や各種啓発パンフレットの作成・配布              市内小・中学校のすべての児童及び生徒の作品の中から選ばれた人権作文・標語集を作成し、市内小・中学校に3月に配布しました。              啓発品を作成し、窓口にて配布しました。</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>人権教育推進体制の充実を図るため、市人権教育推進協議会や埼玉葛地区人権教育推進協議会等と連携した各種研修会や啓発活動が実施された。「第32回埼玉葛人権を考えるつどい」は越谷市で開催され、舞台公演・作品展示・物品販売等を含めて盛況だったということで関心の高さがうかがえる。こうした機会が人権意識の醸成の促進に活かされることを期待したい。</p> <p>「思いあうまち（人権尊重）」を社会教育の基本施策に掲げる本市では、例年市内の小・中学生が人権問題の作文や標語といった課題に取り組み、発表するという機会を設けてきた。この場は、広く市内の他の学校の児童・生徒の考え方を知る良い機会ともなっている。前述した「人権作文・標語表彰式」がそれである。当日の発表は限られた参加者に向けたものであったが、その発表内容はパンフレットにまとめて主に市内の小・中学校に配布されるということで、その有用性に期待したい。</p> <p>本市の子どもたちが人権問題という課題に向き合ったということは、今後この問題について正しい理解と考え方をもち、身近な問題として考える啓発の場となったはずである。各学校での取り組みを評価したい。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>引き続き、各種研修会の実施や広報しらおかなどで人権教育・人権問題の啓発を実施し、更なる人権意識の高揚を図ります。</p> <p>人権作文・標語表彰式及び“じんけん”ふれあいコンサートについては、人権に対する意識を高められるよう、事業の運動性なども考慮し、開催してまいります。そして、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会づくりを目指します。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(3) 文化・芸術活動の促進
施策の方向	①文化・芸術に触れる機会の充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化講演会の開催</li> <li>2 ランチタイムコンサートの開催</li> <li>3 ギャラリー（企画展示室）の利用促進</li> </ol>
目標	<p>文化講演会を開催するほか、ランチタイムコンサートの再開に向けて検討します。 生涯学習センター〔こもれびの森〕のギャラリー（企画展示室）などを市民や市内で活動する団体の成果発表の場として活用することにより、市民が幅広い文化・芸術に触れる機会を提供します。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化講演会の開催【重点】 生涯学習センター来館者100万人達成及び開館5周年を記念して、11月3日（金・祝）に落語家の林家正蔵さんを講師にお招きし、「明るく、元気に、一生懸命」と題して、講演をしていただきました。 すべての人たちが生涯を通じて楽しく学び、憩い、交流することができる生涯学習・地域コミュニティ・文化創造の拠点である生涯学習センターにおいて、「いつでも・どこでも・誰でも」学べる生涯学習を支援するため、市民の皆様が、幅広い文化・芸術に触れる機会を提供することができました。 参加者数 309名</li> <li>2 ランチタイムコンサートの開催 現在、ランチタイムコンサートの出演者であった市内の音楽愛好家は、生涯学習センターの音楽スタジオや集会室等を活用して、独自に活動を行っています。 また、ランチタイムコンサートの再開に向けた検討をするため、以前に出演していたいくつかの団体の活動状況について情報収集を行いました。</li> <li>3 ギャラリー（企画展示室）の利用促進 ギャラリー（企画展示室）は、市主催の企画展示のほか、芸術・文化などの分野において、精力的に創作活動をされている市民の皆様や、市内で活動されているサークルの方々による自らの創作活動の発表の場として、活用していただいております。 利用頻度が高く、今年度は20団体から利用申請を受け、利用期間はほぼ埋まっている状況にあります。 利用者のバランス、希望にこたえるためのギャラリー利用調整会議を年2回開催し、計画的なギャラリーの利用を推進しています。</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>今年度の文化講演会は、【こもれびの森】来館者100万人達成及び開館5周年記念事業として実施された。講演のタイトルは「明るく、元気に、一生懸命」、講師は落語家の林家正蔵師匠であった。定員を超える申し込みがあり、当日も大盛況。コロナ禍が収束してきたため首都圏でも様々なイベントが実施されるようになってきたが、それでも身近な場所でこうした講演会を楽しめるのは市民にとって嬉しいことである。参加者のほとんどが市内の60歳代以上で「広報しらおか」から情報を得たということであるから、紙媒体の広報誌が果たす役割はまだまだ大きいといえるだろう。このことは、今後の広報のあり方の参考にしてほしい。</p> <p>また、この文化講演会には「来館者100万人目」となった家族が招待されていて、これは施設と来館者をつなぐ良い取組だと感じた。</p> <p>講演内容はとても充実しており、会場は大いに盛り上がり、参加者の笑いが絶えなかった。アンケートの結果からも市民が存分に楽しんだことがうかがえた。</p> <p>こうした、市民を笑顔にするイベントを提供したことを高く評価したい。</p> <p>一方で、ランチタイムコンサートについては、出演者との意見交換を継続しているとのことだが、これまでの形態にこだわることなく、それぞれの立場にも配慮してより良い形で結果が示されることを願いたい。ギャラリーの利用に関しても、市民の要望に応えるとともにバランスよく活用されることが望まれる。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>文化講演会を開催し、市民が幅広い文化・芸術に触れる機会を提供していきます。</p> <p>また、生涯学習センター（こもれびの森）を市民や市内で活動する団体の成果発表の場として活用していく事業を実施していきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(3) 文化・芸術活動の促進
施策の方向	②市民の文化・芸術活動の支援
主な取組	1 社会教育団体との連携・協力
目標	社会教育関係団体に対する支援を通して、市民の様々な文化・芸術活動を推進します。
事業実績・成果	1 社会教育団体との連携・協力（再掲） 補助金の交付により、文化祭の開催や文連だよりの発行をすることができ、芸術・文化活動の充実、発展に寄与する活動を支援することができました。 ・社会教育関係団体補助金交付 【1団体（白岡市文化団体連合会）】
達成度	B
学識経験者の意見	文化団体連合会には、様々な文化活動に関わっている市民が参加している。補助金の交付は、各団体の日ごろの活動の成果発表の機会としての文化祭実施や、当該団体の広報活動の支援につながるものであろう。市民の生涯学習活動を推進するためにも、社会教育団体との連携・協力を強化してもらいたい。その上で、公民館などにおける活動の活性化にもつながることを期待したい。
課題 今後の対応方針	引き続き、社会教育団体に対する支援を通して、市民の様々な文化・芸術活動を推進していきます。
評価結果	B
担当課	生涯学習課



## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

<b>施策目標</b>	3 社会教育の充実
<b>施策項目</b>	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
<b>施策の方向</b>	①文化財の総合的把握の促進
<b>主な取組</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 分野ごとの調査精度の向上</li> <li>2 仏像、美術工芸品、建造物など未実施項目の調査の推進</li> <li>3 「総合的な把握」の手法を生かした調査の推進</li> <li>4 身近な文化財に気づき、誇りを持って守り伝える取組の支援</li> <li>5 把握した文化財の活用を視野に入れた情報の共有化の促進</li> <li>6 市民協働での調査活動やワークショップの促進</li> </ol>
<b>目標</b>	<p>これまで文化財分野ごとに行われてきた調査活動の精度を高めるとともに、行われてこなかった分野の調査活動を推進します。また、調査対象の多角的な検討や、調査成果の分野横断的な検討を行い、文化財の総合的な把握に努めることで、市民のシビックプライドの醸成を図ります。</p>
<b>事業実績・成果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 分野ごとの調査精度の向上            今年度実施した調査活動は埋蔵文化財発掘調査と市内仏像調査、寄託・寄贈を受けた文書資料や民俗資料の整理を実施しています。           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 埋蔵文化財本発掘調査 1件                ア 山遺跡第19地点(白岡) 11月14日～28日</li> <li>(2) 埋蔵文化財試掘調査 17件</li> <li>(3) 出土遺物整理事業 通年 山遺跡ほか</li> <li>(4) 発掘調査報告書作成・刊行 『山遺跡第5・11・18地点』</li> <li>(5) 自然科学分析 茶屋遺跡第7地点出土炭化材自然科学分析</li> <li>(6) 諸資料の調査・整理                ア 大久保税治家文書 61点                イ 山崎フミ江家旧蔵文書 543点                ウ 岡安達也家文書 292点                エ 白岡新田牛頭天王文書 35点                オ 中太庄家文書 整理中                カ 岡安重幸家文書 292点</li> <li>(7) 企画展図録、歴史資料展示室紀要の刊行</li> </ol> </li> <li>2 仏像、美術工芸品、建造物など未実施項目の調査の推進【重点】            白岡市文化財保存活用地域計画に基づく仏像調査を3か寺で3回実施しました。調査は本年度で2年目にあたり順調に推移しています。           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 仏像調査 6回                ア 安楽寺(太田新井) 6月13日                イ 大徳寺(上野田) 10月17日                ウ 正傳寺(上野田) 2月21日</li> </ol> </li> <li>3 「総合的な把握」の手法を生かした調査の推進            白岡市文化財保存活用地域計画で提示した6つの関連文化財群のストーリーを踏まえながら、構成文化財を補強するための調査を順次進めていきます。            今年度については、日勝地区の仏像調査を進めており、ストーリー1「鎌倉街道と幻の川「日川」」に資する調査成果をあげたものと捉えています。</li> </ol>

事業実績・成果	<p>4 身近な文化財に気づき、誇りを持って守り伝える取組の支援 文化財の管理と適切な伝承を行うため、文化財収蔵施設の維持管理に努めました。 青雲寺所蔵の木造阿弥陀如来坐像を市指定文化財として指定するとともに、青雲寺と白岡遺産保存活用市民会議との共催で本仏像の一般公開を行いました。 市内の文化財を収蔵している生涯学習センター3階の一般収蔵庫及び特別収蔵庫、寄贈・寄託による館蔵資料の燻蒸作業を実施しました。 指定文化財標柱改修事業として、大徳寺と篠津須賀神社の標柱2本の塗り直しを実施しました。</p> <p>5 把握した文化財の活用を視野に入れた情報の共有化の促進 把握した文化財については、速やかに整理を進め、今後の活用にあてはめます。 埋蔵文化財調査においては、調査後の図面と写真及び出土遺物の基礎整理作業を実施しました。 仏像調査においては、調査後の調書と写真の整理を実施しました。 寄贈・寄託を受けた歴史資料や民俗資料については、目録の作成と写真記録を実施しました。</p> <p>6 市民協働での調査活動やワークショップの促進 仏像調査の成果を踏まえ、青雲寺と白岡遺産保存活用市民会議との共催で青雲寺所蔵の木造阿弥陀如来坐像の一般公開を行いました。 4同様、今後も6つの関連文化財群のストーリーを踏まえながら、構成文化財を補強するための調査を順次進めていきます。</p>
達成度	A
学識経験者の意見	<p>白岡市文化財保存活用地域計画の策定後、昨年度からその計画に基づいて仏像調査が始まっている。その結果、平安時代末期作と年代が明らかになった木造阿弥陀如来坐像（青雲寺蔵）を新しく指定文化財とするなど実績を重ねている。この仏像について広く市民に知ってもらおうと、昨年11月には一般公開された。この公開は、同寺と白岡市教育委員会に加えて白岡遺産保存活用市民会議が共催で実施したもので128人の参加者が訪れている。調査の成果はもとより、それらを市民と協働で公開したことは、市民が身近な文化財に気づき誇りを持って守り伝える取組となるだろう。</p> <p>また、埋蔵文化財の調査についても、発掘及び試掘調査が年間を通して地道に実施されてきた。これらの成果については、これまで通りきちんと整理し、報告書などで市民に公開し、情報を共有できるよう努めてもらいたい。</p> <p>多くの業務に携わるなかで、文化財の総合的把握のための基礎的な調査が着実に進められていることを高く評価する。</p>
課題 今後の対応方針	<p>引き続き、文化財調査をおとした市内の文化財の把握に努めてまいります。3年目を迎える仏像調査については、機会を捉えて一般公開や解説会等を開催し、市民に文化財に親しんでもえるよう取組ます。</p>
評価結果	A
担当課	生涯学習課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
施策の方向	②歴史文化の保存と継承
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 活用頻度の高い文化財の複製作成の推進</li> <li>2 文化財伝承活動の適切な支援</li> <li>3 地域と協力した適切な防災体制の構築</li> <li>4 消防との情報交換体制の整備</li> <li>5 白岡市文化財保存活用地域計画に関する理解の促進</li> </ol>
目標	<p>文化財の確実な保存と継承のために3つの取組を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財の管理と適切な伝承活動</li> <li>2 文化財に関する防災・防犯活動</li> <li>3 文化財保護のための体制整備</li> </ol>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 活用頻度の高い文化財の複製作成の推進 館蔵資料の整理を進め、複製作成すべき資料を抽出しています。</li> <li>2 文化財伝承活動の適切な支援 文化財の適切な伝承を行うため、指定文化財に対して補助金交付による支援を実施しました。 (1) 指定文化財管理・修理に対する補助金交付 2件 山車提灯の補充（篠津天王様の山車・神山耕地） 4月21日 山車提灯の補充（篠津天王様の山車・横宿耕地） 8月23日</li> <li>3 地域と協力した適切な防災体制の構築 市指定文化財所有者には、管理者交代等も含め、適宜連絡をとることで、非常時の連絡先の把握に努めています。 また、文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練を地域住民参加で実施し、防災意識の醸成に努めました。 (1) 文化財防火訓練の実施 大徳寺（上野田）1月26日 参加者25名</li> <li>4 消防との情報交換体制の整備 3であげた文化財防火訓練を共同で実施しました。さらなる連携に努めていきます。</li> <li>5 白岡市文化財保存活用地域計画に関する理解の促進 白岡市文化財保存活用地域計画に基づく「白岡遺産」をテーマとした企画展示の開催やミュージアム・ゼミナール「学ぼう白岡遺産」による周知を図りました。 白岡遺産保存活用市民会議設立総会後に大東文化大学の宮龍交二教授による「文化財保存活用地域計画を生かしたまちづくり～市民会議に期待されるもの～」と題した記念講演会を開催しました。 (1) 企画展「願いごと かないますように！～祈りとまじないの白岡遺産～」 10月9日～11月25日 (2) ミュージアム・ゼミナール「学ぼう白岡遺産」 10月12日、19日、26日 延べ13名 (3) 白岡遺産保存活用市民会議設立総会及び記念講演会 7月29日 参加者49名</li> </ol>

達成度	A
学識経験者の意見	<p>白岡市文化財保存活用地域計画について、その理解の促進を図るため、着実に様々な事業を進めてきたことを高く評価する。今年度は、計画どおりに白岡遺産保存活用市民会議が設立され、その活動は一層充実したものになるだろう。今後も、歴史文化の保存と継承の意識を市民に浸透させることに努めてもらいたい。</p> <p>また、歴史文化の保存と継承のためにも防災体制の構築は欠かせない。今年初めには能登半島で大きな地震の被害が発生している。本市においても「文化財防火訓練」が消防組合等の協力を得て実施されたが、こうした訓練に真摯に取り組む、市民の文化財に対する防災意識を高めるように努めてもらいたい。さらには、災害が発生した時の備えとして文化財救出マニュアル等の整備も進めて欲しい。</p>
課題 今後の対応方針	<p>市内仏像調査や文化財防火訓練によって、市内の寺院や消防組織との連携を深めるとともに、寺院所蔵の文化財の現況を把握しているところ。今後、こうした成果を踏まえ、発災時の緊急連絡体制や被災時の文化財救出マニュアル等の整備を検討します。</p>
評価結果	A
担当課	生涯学習課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

<b>施策目標</b>	<b>3 社会教育の充実</b>
<b>施策項目</b>	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
<b>施策の方向</b>	<b>③歴史文化の情報発信・普及活用の充実</b>
<b>主な取組</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財調査の成果の速やかな公開</li> <li>2 理解しやすく、親しみやすい文化財資料の公開</li> <li>3 学校との連携強化の促進</li> <li>4 歴史資料展示室事業の充実</li> <li>5 Webを活用した情報発信の促進</li> <li>6 文化財を活用した様々なイベントの推進</li> </ol>
<b>目標</b>	<p>文化財の調査成果の速やかな公表、理解しやすく親しみやすい情報発信に努めます。歴史資料展示室の充実や文化財を活用した様々なイベントの開催、また観光協会などと連携した新たな普及活動に努め、市民の郷土の歴史文化に対する興味関心を深めます。</p>
<b>事業実績・成果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財調査の成果の速やかな公開 埋蔵文化財については、毎年度発掘調査報告書を刊行しているほか、調査成果を速報として市ホームページに掲載しています。 指定文化財の新規指定・追加指定については、「広報しらおか」と市公式ホームページに掲載しています。</li> <li>2 理解しやすく、親しみやすい文化財資料の公開 資料画像について利用希望者の求めに応じ、テレビ番組等への画像提供を行ったり、講師派遣事業について資料を用いたりするなど、文化財と市民との距離が縮まるよう努めました。 (1) 外部への資料提供 資料貸出4件、資料画像提供1件 (2) 講師派遣 職員出前講座4件、歴史学習支援事業3件、指導者派遣2件 (3) 歴史的公文書の整理・目録の作成</li> <li>3 学校との連携強化の促進 歴史資料展示室常設展示の最終コーナー「明日を創る」に展示する児童生徒の「未来の白岡」絵画展の公募を学校に対して行い、最優秀作品を展示しました。 「未来の白岡」の5年間分の応募作品をまとめた絵画展作品集を刊行しました。 文化財のうち、特に児童生徒の歴史学習活動に有効なものを学校に持参し、教材として活用する「歴史学習支援事業」の実施希望を照会し、今年度は3件の事業を実施しました。 (1) 縄文～古墳時代の資料に触れる 6月22日 南中学校1年生3クラス (2) 昔の柴山沼について知る 6月22日 大山小学校5年生1クラス (3) 古い道具と昔の暮らし 2月15日 大山小学校3年生1クラス</li> </ol>

事業実績・成果	<p>4 歴史資料展示室事業の充実  歴史資料展示室において企画展や季節展示を実施するとともに、市民向けの普及講座を積極的に開催することで、市民に文化財に関する情報を提供し、文化財に対する理解の促進に努めました。</p> <p>(1) 歴史資料展示室主催展示 計3回  ア 企画展「願いごと かないますように！～折りとまじないの白岡遺産～」  10月9日～11月25日  イ 季節展示「白岡の古墳時代の始まり～古墳のない白岡の古墳出現期～」  7月8日～8月13日  ウ 季節展示「白岡の縄文土器とその世界～タタラ山遺跡の〔縄文コード〕～」  11月14日～1月14日</p> <p>(2) 定例展示解説会「ハンズ・オン・デイ」 計12回  4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日、  10月14日、11月18日、12月9日、1月20日、2月17日、3月16日  今後1月20日、2月17日、3月16日  (すべて土曜日)</p> <p>(3) ミュージアム・ゼミナール 3講座計9回  ア 白岡の古墳時代の始まり～古墳のない白岡の古墳出現期～  7月6日、13日、20日 延べ12名  イ 学ぼう白岡遺産  10月12日、19日、26日 延べ13名  ウ 災害と疫病@白岡～江戸時代・近代の記録から～  1月12日、19日、26日 延べ18名</p> <p>(4) 親子おもしろミュージアム  ア 藍のたたき染め教室 8月5日 18名  イ まが玉づくり 3月9日 22名</p> <p>(5) ペアーズアカデミーにおける連携講座 1講座3回  企画展との連携講座 11月9日、16日、24日 延べ5.2名</p> <p>(6) 展示室だより『のよみち』の発行 年4回</p> <p>(7) 企画展図録：歴史資料展示室紀要、「未来の白岡」絵画展作品集の刊行</p>
	<p>5 Webを活用した情報発信の促進  市ホームページを活用し、文化財調査成果の公開するほか、歴史資料展示室実施事業の事前周知と事後報告についても情報発信を行いました。  市ホームページに市所蔵文化財の基礎的情報を掲載するデジタルアーカイブズを公開しました。</p>
	<p>6 文化財を活用した様々なイベントの推進  4であげた歴史資料展示室におけるイベントのほか、学習支援担当と連携し、ペアーズアカデミーにおいて文化財に関する講義を実施しました。  文化財保存団体や文化財愛護団体が実施するイベントについても連携・協力を努めました。</p>
達成度	A

<p>学識経験者の意見</p>	<p>仏像調査の成果として、新しく指定文化財となった木造阿弥陀如来坐像（青雲寺蔵）について広く市民に知ってもらう機会として一般公開が実施された。</p> <p>この公開は、同寺と白岡市教育委員会に加えて白岡遺産保存活用市民会議が共催で実施したもので多くの人が見学に訪れた。このことは、これまで調査報告書及びパンフレット、広報誌・ホームページ等を活用した情報発信が行われてきたが、実際に文化財に触れる機会が如何に大切であるかを示している。今後の事業運営に活かしてほしい。</p> <p>さらには、歴史文化の情報発信や普及活用の充実を図るために歴史資料展示室も活用された。多くの来館者の目に触れる場所にあるこの展示室では、展示だけでなく、「ハンズオンデー」など誰もが気軽に体験できるイベントも年間を通して実施している。さらには、歴史学習支援事業として小中学校へ出向くことで学校との連携も図られた。</p> <p>第6回企画展「願いごとかないますように！」では、考古資料だけでなく石尊燈籠・獅子頭・しゃもじなど市民が親しんできた資料も紹介していた。展示会の名称に「白岡遺産」を加えたことで、この文言を広く市民に伝える役割も果たしているといえるだろう。「ミュージアムブックレット6」も継続して刊行していることは評価に値する。</p> <p>この展示室には「明日を創る」という展示コーナーがあり、これまで市内の児童生徒が描いた「未来の白岡」というテーマの絵画が展示されてきた。〔こもれびの森〕開館5周年となった今年度は、これまで展示してきた絵画（105点）を1冊にまとめたブックレットを作成し、市内の小・中学校及び白岡高校にも配布された。この取り組みが、歴史資料展示室を身近に感じてもらう良い契機となることを期待したい。</p> <p>今後もマスコミはじめ多くの媒体を活用した効果的な情報発信を継続し、事業の広報に努めてもらいたい。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>生涯学習センター条例の改正に伴い、歴史資料展示室は「白岡市立歴史資料館」へと名称変更をします。今後も白岡市を代表する博物館施設として、文化財普及啓発の拠点となるよう、幅広い年代を対象とした普及事業に取組ます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>A</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>



## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(4) 郷土の文化財に親しみ、理解し、市民の力で守り伝える活動の推進
施策の方向	④市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色ある地域の伝統行事の発掘の促進</li> <li>2 地域の行事を地域で支える仕組みづくりの促進</li> <li>3 担い手同士のネットワーク化の促進</li> <li>4 周囲から支える仕組みづくりの促進</li> <li>5 市民や地域団体の提案による文化財保護の取組の促進</li> </ol>
目標	<p>特色ある伝統行事を後世に伝えるために、地域の行事を地域で支える仕組みづくりを促進します。「白岡遺産」制度をその中核として、市民が主役となりうる文化財保護の仕組みづくりを促進します。</p> <p>また、地域が主体となって行う取組を地域の事業者、企業などが支援し、新たな取組の創造や、団体同士の支えあいの仕組みづくりを支援することで、市民や地域団体が主体的に文化財を守り伝えていく提案型の文化財保護の仕組みづくりを促進します。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特色ある地域の伝統行事の発掘の促進  「白岡遺産」制度の中核を担う組織として白岡遺産保存活用市民会議が発足し、設立準備会及び記念講演会を開催しました。  市民会議の理事会、運営委員会、各部会が開催され、今後の組織の運営に係る体制が整備されました。  (1) (仮称)白岡遺産保存活用市民会議設立準備会  5月21日、6月18日、7月16日  (2) 白岡遺産保存活用市民会議設立総会及び記念講演会  7月29日 参加者49名  (3) 白岡遺産保存活用市民会議理事会  8月19日  (4) 白岡遺産保存活用市民会議運営委員会  9月24日  (5) 白岡遺産保存活用市民会議運営委員会合同部会  11月12日  (6) 白岡遺産保存活用市民会議運営委員会広報部会  12月10日  2月4日  2月25日  (7) 白岡遺産保存活用市民会議運営委員会企画部会  2月4日  (8) 白岡遺産保存活用市民会議自主学習会  2月25日</li> <li>2 地域の行事を地域で支える仕組みづくりの促進  1 同様に白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。</li> <li>3 担い手同士のネットワーク化の促進  1 同様に白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。</li> <li>4 周囲から支える仕組みづくりの促進  白岡遺産保存活用市民会議との共催で、文化財の一般公開や市民会議広報誌を作成しました。  (1) 青雲寺仏像一般公開  11月23日 128名  (2) 白岡遺産保存活用市民会議だより1号  300部発行</li> </ol>

	<p>5 市民や地域団体の提案による文化財保護の取組の促進  1 同様に白岡遺産保存活用市民会議を主体として取り組んでいく予定です。</p>
達成度	A
学識経験者の意見	<p>白岡市文化財保存活用地域計画について、その理解の促進を図るため、これまでも様々な事業を進めてきたが、今年度は、白岡遺産保存活用市民会議が設立され、活動は一層充実したものになることが期待される。</p> <p>ここには様々な立場の市民が参加しており、「白岡遺産」の考え方を市民に浸透させることが、地域の伝統行事等も支えることに活かされてくるだろう。新たに指定文化財となった仏像の公開事業は、所有者の青雲寺と白岡市教育委員会に加えて白岡遺産保存活用市民会議が共催で実施したものであり、多くの参加者が訪れたことは、市民会議の構成員にとっても励みになったに違いない。ネットワークの構築だけでなく、その活動を充実させていることを評価したい。今後も、市民との連携・協働による歴史文化の保存・活用を目指してもらいたい。</p>
課題 今後の対応方針	<p>市民発案による新たな「白岡遺産」が認定できるよう、今後も白岡遺産保存活用市民会議と連携・協働しながら、市民提案型の文化財保護制度の周知を推進するとともに、文化財の保存活用が図れるよう活動を充実していきます。</p>
評価結果	A
担当課	生涯学習課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

<b>施策目標</b>	3 社会教育の充実																		
<b>施策項目</b>	(5) 生涯スポーツの普及・推進																		
<b>施策の方向</b>	①生涯スポーツの普及・推進																		
<b>主な取組</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ教室（ニュースポーツ教室を含む）の実施</li> <li>2 ウォーキング教室の実施</li> <li>3 新体力テストの実施</li> <li>4 白岡新春マラソン大会の開催</li> </ol>																		
<b>目標</b>	<p>市民の皆様の健康づくりの場を提供し、生涯スポーツ活動の推進を図ることを目的として、子どもから高齢の方まで気軽に参加できるスポーツ教室のほか、市民ウォーキング、雪上体験教室などの事業を実施します。</p> <p>また、本市におけるスポーツ活動を推進するための基本的な方向性を定める「白岡市スポーツ推進計画」の策定を進めます。</p>																		
<b>事業実績・成果</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ教室（ニュースポーツ教室を含む）の実施【重点】 市民が生涯にわたり健康に暮らせるように、身体を動かすきっかけとして、ニュースポーツや障がい者スポーツを体験できるニュースポーツ教室を市内各小学校体育館において開催しました。 このことにより、市内におけるニュースポーツの周知が進み、また、市民が楽しく身体を動かすきっかけづくりを提供することができました。 (1) ニュースポーツ教室「ポッチャ」 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・ 6月10日（土）</td> <td>南小学校体育館</td> <td style="text-align: right;">4名</td> </tr> <tr> <td>・ 6月24日（土）</td> <td>西小学校体育館</td> <td style="text-align: right;">18名</td> </tr> <tr> <td>・ 7月 8日（土）</td> <td>葺我小学校体育館</td> <td style="text-align: right;">15名</td> </tr> <tr> <td>・ 7月22日（土）</td> <td>篠津小学校体育館</td> <td style="text-align: right;">27名</td> </tr> <tr> <td>・ 9月10日（土）</td> <td>大山小学校体育館</td> <td style="text-align: right;">11名</td> </tr> <tr> <td>・ 10月15日（日）</td> <td>白岡東小学校体育館</td> <td style="text-align: right;">17名</td> </tr> </table> (2) さいかつぼーる交流大会 1月実施予定</li>   <li>2 ウォーキング教室の実施【重点】 市民が生涯にわたり健康に暮らせるように、身体を動かすきっかけとして、市民ハイキングを御岳山（東京都青梅市）において開催しました。 このことにより、ハイキングの楽しさを知ってもらい、日常においてもウォーキング等の運動を始めるきっかけを提供することができました。 ・ 10月21日（土） 29名</li>   <li>3 新体力テストの実施【重点】 新体力テストを生涯学習センター（こもればの森）多目的ホールにおいて開催しました。 このことにより、参加者自身の運動能力などを確認する機会を提供することができ、今後の健康づくりや体力の向上を図るための一助とすることができました。 11月18日（土） 36名</li> </ol>	・ 6月10日（土）	南小学校体育館	4名	・ 6月24日（土）	西小学校体育館	18名	・ 7月 8日（土）	葺我小学校体育館	15名	・ 7月22日（土）	篠津小学校体育館	27名	・ 9月10日（土）	大山小学校体育館	11名	・ 10月15日（日）	白岡東小学校体育館	17名
・ 6月10日（土）	南小学校体育館	4名																	
・ 6月24日（土）	西小学校体育館	18名																	
・ 7月 8日（土）	葺我小学校体育館	15名																	
・ 7月22日（土）	篠津小学校体育館	27名																	
・ 9月10日（土）	大山小学校体育館	11名																	
・ 10月15日（日）	白岡東小学校体育館	17名																	

事業実績・成果	<p>4 白岡新春マラソン大会の開催【重点】 生涯スポーツの振興とともに、市民の体力・健康づくりやふれあいの機会を提供するために白岡新春マラソン大会を開催しました。 このことにより、市内外から多くの方に参加していただくことができ、市民ランナーをはじめ、日ごろの努力の成果、また走る楽しさを多くの方に知ってもらえました。 令和6年1月14日（日） 参加者1,804人（申込者数2,050人）</p>
達成度	A
学識経験者の意見	<p>ニュースポーツ教室（ポッチャ）は、スポーツ推進委員の支援を得ながら継続的に実施回数を重ねている。これまでの累計参加者は相当数に上るのではないだろうか。ポッチャは幅広い年齢層が同時に対戦できるルールも簡単なため、生涯スポーツに相応しい競技といえる。バラスポーツの理解促進のためにも、今後もこの取組は継続してもらいたい。ただし、各種資料の文言を今年開催予定のバリ大会を見据えたものに改めることが必要ではないだろうか。今後も日本選手の活躍が期待できるスポーツとして、広く市民の関心を集めるよう普及に努めて欲しい。</p> <p>新体力テストは「こもれびの森まつり」で実施された。ここでも、スポーツ推進委員の活躍が際立っていた。職員だけでは運営が難しいなか、円滑な進行を担う姿は頼もしい。シャトルランでは若者の参加もあり白熱し、参加者のなかには、「社会人になると体力テストを受ける機会が無くなる。自分の体力を知るためにも、このような体力テストを市が毎年実施してくれると気軽に参加できるので嬉しい。」と話す人もいた。</p> <p>1月には新春マラソン大会も4年ぶりに開催された。参加者が1,800人を超えたことから、ランナーがこの大会を心待ちにしていた様子がうかがえる。競技は、学年や年齢等に応じて細かく分けた29種目があり、皆が楽しく参加できるように配慮されていた。参加者からは、「種目がたくさんあるので気軽に家族や知人・友人と参加できる。」「抽選会も楽しみ。」と好評であった。</p> <p>前日の降雪で設営テントにアクシデントはあったものの、当日は快晴に恵まれて予定通り競技は進められた。会場ではピブスを着用した多くのボランティアスタッフが運営の補助にあたっていて、なかには連絡係として働く中学生の姿もあり頼もしく感じた。ゴール付近には市内総合病院のスタッフが控えていて、体調面のケアも万全であったし、司会者やキッチンカーの導入が大会を盛り立てていた。</p> <p>愛らしいチアリーダーや囃子連の応援を受けてスタートした選手たちは、快走して次々とゴールしていた。このように安全な大会運営を進めてきた実行委員をはじめ全てのスタッフの労をねぎらいたい。多くの人の協力で生涯スポーツの普及・推進が進められたことを高く評価する。</p>
課題 今後の対応方針	<p>今後もニュースポーツ教室を通して、ポッチャ等の生涯スポーツの普及に努めます。また、ポッチャ以外の新たな種目の開拓も検討していきます。</p> <p>新春マラソン大会については、4年振りに開催することができ、参加者から好評をいただくことができました。課題としては、令和5年度をもって2団体が体育協会から脱退したため、協力スタッフの確保がこれまで以上に困難となることです。次回大会においては、運営体制の見直しを進め、限られた人員でどのように大会運営を行っていくか検討していきます。</p>
評価結果	A
担当課	生涯学習課

## 白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(5) 生涯スポーツの普及・推進
施策の方向	②スポーツ指導者の育成
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会体育関係団体指導者等研修会の実施</li> <li>2 スポーツ推進委員研修会の実施</li> <li>3 社会体育団体との連携・協力</li> <li>4 障がい者スポーツ指導員の育成支援</li> </ol>
目標	<p>社会体育団体指導者等研修会やスポーツ推進委員研修会を実施し、スポーツ指導者の育成を推進します。</p> <p>また、研修会の内容の充実を図り、より多くの指導者や指導者を志す人の研修会への参加を促進します。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会体育関係団体指導者等研修会の実施                      白岡市におけるスポーツ活動の普及・振興を図るため、体育協会加盟団体指導者・市内体育施設利用者等を対象に、指導者としての知識・技能の向上を図ることを目的として、社会体育関係団体指導者等研修会を実施しました。                      ・3月9日 実施 「スポーツと天気」 講師：平井 信行氏                      参加者 71名</li> <li>2 スポーツ推進委員研修会の実施                      ポッチャやモルック等各種ニュースポーツの研修会を実施し、ニュースポーツを体験することや、ルールを習得することができ、指導者の知識向上に繋げることができました。                      また、全国スポーツ推進委員研究協議会や埼玉地区スポーツ推進委員連絡協議会の負担金について市が負担し、積極的な参加の促進を図りました。                      このことにより、スポーツ推進委員を中心とした生涯スポーツ・地域スポーツ指導者の育成を推進することができました。</li> <li>3 社会体育団体との連携・協力                      白岡まつり（白岡市体育協会） 8月26日（土）                      市民体育祭（白岡市体育協会） 10月～11月                      白岡新春マラソン大会（白岡新春マラソン大会実行委員会） 1月14日（日）</li> <li>4 障がい者スポーツ指導員の育成支援                      白岡アダプテッドスポーツ協議会が開催しているアダプテッドスポーツ教室において、白岡市アダプテッドスポーツ連絡協議会と連携し、教室を実施しました。                      このことにより、障がい者や高齢者、子ども等と一緒にスポーツを楽しむことができる機会を提供することができました。                      ・勤労者体育センターアリーナ 全10回</li> </ol>
達成度	B

<p>学識経験者の意見</p>	<p>社会体育関係団体指導者等研修会などの研修は、成果を上げるためにも引き続き継続することが重要だと思うので、こうした研修会が障がい者スポーツも含めた多様なスポーツの指導者育成につながるよう期待したい。</p> <p>本市では、ニュースポーツとしてポッチャやモルック等を市民が体験する機会がある。ポッチャ教室の多くは小学校の体育館を会場に実施され、モルックは放課後子ども教室でも取り上げられている。こうした競技の実施にはスポーツ推進委員が大きな役割を果たしている。</p> <p>今後も生涯スポーツの普及・推進を図るとともに安全にスポーツ事業を実施するためにも、こうした担い手を充足させるように努めて欲しい。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>令和6年度も社会体育関係団体等研修会やスポーツ推進委員研修会、アダプテッドスポーツ教室を実施し、スポーツ指導者の育成や、生涯スポーツ・地域スポーツ・障がい者スポーツの指導体制の整備を図っていきます。</p> <p>また、研修会の実施にあたっては、テーマ設定に留意し、スポーツ指導者にとって有意義なものとなるよう努めていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>B</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>

白岡市教育委員会の点検・評価シート

施策目標	3 社会教育の充実
施策項目	(5) 生涯スポーツの普及・推進
施策の方向	③スポーツ施設・設備の充実
主な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ施設・設備の適正な維持管理</li> <li>2 指定管理者によるB&amp;G海洋センターの管理運営</li> <li>3 指定管理者が実施する自主事業（水泳教室等）の実施</li> </ol>
目標	<p>施設・設備の状態について日頃から注視し、適切な維持管理に努めます。</p> <p>また、学校体育施設の開放については、今後もスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、スポーツ活動の充実を図ります。</p> <p>B&amp;G海洋センターについては、指定管理期間が令和5年度末となっていることから、次期指定管理者の選定において、適正な事業者を選定できるよう事務を行います。また、指定管理者が実施する自主事業を活用し、利用者の確保に努めます。</p>
事業実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツ施設・設備の適正な維持管理              勤労者体育センター、市民テニスコート、総合運動公園、白岡公園野球場及びふれあいの森公園運動広場の施設管理を適正に行うことができました。              B&amp;G海洋センターについては、ポンプやろ過装置の大規模改修を実施しています。              このことにより、安心、安全な施設で市民の健康増進と体力向上を図ることができました。</li> <li>2 指定管理者によるB&amp;G海洋センターの管理運営              指定管理者によって、施設を適切に運営することができました。              指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）              利用人数 令和元年度 73,812人                        令和2年度 36,719人                        令和3年度 58,686人                        令和4年度 65,503人                        令和5年度 74,249人</li> <li>3 指定管理者が実施する自主事業（水泳教室等）の実施              自主事業を実施することによって、利用者の増加に資することができました。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳教室（5～6月、9～10月）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生泳げない子（各7回、定員10名）木曜 延べ79名</li> <li>小学生泳げない子（各7回、定員10名）土曜 延べ85名</li> </ul> </li> <li>・「B&amp;G海ごみゼロフェスティバル2023」開催（6月4日 柴山沼）                      カヌーに乗って水上のごみ拾い 参加者 10名</li> <li>・「B&amp;GしらおかFesta」開催（11月5日）                      来場者 約750名                     <ul style="list-style-type: none"> <li>スイミングスクール体験 6人</li> <li>スペシャルアクアピクス 3人</li> <li>プールアトラクション 147人</li> <li>屋外ミニ緑日 436人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>
達成度	A

<p>学識経験者の意見</p>	<p>スポーツ施設・設備の維持・管理については、経年劣化への対応等、年間を通して適正に実施されている。また、指定管理者による「B&amp;G海ごみゼロフェスティバル2023」では、カヌーを使って柴山沼周辺の清掃が実施された。これは、カヌー体験を清掃に活かした合理的な取り組みとして評価できる。</p> <p>また、「水辺の安全教室：着衣泳&amp;ライフジャケット体験」では、大山小学校の全学年の児童49人が貴重な体験の機会を得ている。遭難した場合には救助を待つ間に弱気にならないように皆で歌を歌うことが有効だとして、児童たちは浮きながら校歌を歌ったという。家庭では困難なものも専門スタッフと共に体験できたことは本当に貴重である。</p> <p>多くの市民にスポーツを楽しむ機会を提供するためにも、今後も適切な施設の運営を続けてもらいたい。</p> <p>市民が安心してスポーツに親しめるよう、その施設及び設備が適正に管理運営されてきたことを評価する。</p>
<p>課題 今後の対応方針</p>	<p>市内体育施設に関しては指定管理者制度も活用しながら、体育施設及び設備を安全かつ適切に管運し、運営を行っています。</p> <p>体育施設の老朽化が進行していますが、令和6年度はB&amp;G海洋センターの大規模修繕が完了する予定です。今後も計画的な改修に努めるとともに、日常の巡回点検等を行うことにより、市民が安全に、そして安心してご利用いただけるよう、施設管理の充実に努めていきます。</p>
<p>評価結果</p>	<p>A</p>
<p>担当課</p>	<p>生涯学習課</p>